

# 消 防 統 計

平成31年【令和元年】版  
(2019)



木更津市消防本部

令和2年7月

## 目 次

木更津市消防の沿革	1
◇ 総 務 関 係 ◇	
1. 消防本部の機構	10
2. 市一般会計予算と消防予算の推移	11
3. 職員の配置	11
4. 年齢別及び階級別消防吏員数	12
5. 職員の教育研修の状況	13
6. 機械器具・建造物等の現況	14
◇ 予 防 関 係 ◇	
7. 防火対象物現況表	15
8. 中高層建築物現況表	16
9. 火災予防条例届出件数	17
10. 建築許可等の同意件数	17
11. 消防用設備等設置届出件数	18
12. 防火管理者選任対象物数	19
13. 危険物施設の許認可状況	20
14. 年度別危険物施設数の推移	20
◇ 火 災 関 係 ◇	
15. 出火原因別火災発生状況	21
16. 年次別火災発生件数	21
17. 年次別火災損害額	21
18. 月別火災発生状況	22
19. 曜日別・時間別火災発生状況	23
20. 署所別火災発生率	23
21. 火災による死傷者状況	24
22. 火災件数に対する種別割合	25
23. 年別の火災件数	25
◇ 警 防 関 係 ◇	
24. 消防の出動状況	26
25. 消防の月別出動状況	27
26. 火災出動状況	27
27. 応援協定等	28
28. 消防水利施設	31

◇ 救 急 ・ 救 助 関 係 ◇

29. 年別事故種別出動件数及び搬送人員	3 2
30. 年別救急出動件数及び搬送人員	3 2
31. 事故種別年齢区分別傷病程度別搬送人員	3 3
32. 時間別出動件数	3 4
33. 救急隊員の行った応急処置件数	3 5
34. 月別出動件数及び搬送人員	3 7
35. 月別各署出動件数	3 8
36. 月別各署搬送人員	3 9
37. 救助活動概要	4 0
38. 救助隊員の構成	4 0
39. 救助隊員の訓練実施状況	4 0
40. 救助出動件数	4 1
41. 過去5年間の事故別救助出動件数	4 1

◇ 通 信 指 令 関 係 ◇

42. 消防通信施設系統図	4 2
43. 1 1 9 番受付統計(覚知種別統計)	4 3
44. 1 1 9 番受付統計(指令・切断統計)	4 3

◇ 気 象 関 係 ◇

45. 年別気象状況	4 4
46. 月別気象状況	4 5

◇ 消 防 団 関 係 ◇

47. 消防団機構図	4 6
48. 報酬及び費用弁償状況	4 7
49. 退職状況	4 7
50. 新任状況	4 7
51. 就業形態別状況	4 7
52. 団員の推移	4 7
53. 団員在職年数	4 7
54. 年齢別及び階級別団員数	4 8

## 木更津市消防の沿革

- 大正 6年 4月 明治22年市町村制が実施され、木更津・吾妻・貝渕の三村を合併して木更津町が誕生。消防の組織は火消組から逐次消防組に組織替
- 昭和 8年 4月 真船村合併、木更津町消防組と称される
- 昭和14年 4月 警防団令施行に伴い、消防組と自主的に配置されていた防護団とを統合して警防団を組織
- 昭和17年11月 木更津町・岩根村・清川村・波岡村の一町三村が合併、木更津市が誕生  
同時にその地区の警防団が統合
- 昭和20年 5月 常備消防部設置。初代部長平野重蔵以下15名、ポンプ車1台配備
- 昭和22年 5月 消防団令が交付され、警防団を消防団に改称、その後初代団長に乙部弘一氏就任  
22分団、団員定数1,180名
- 昭和23年 3月 消防組織法の施行（昭和23年3月7日）に伴い、警察行政から自治体消防として独立
- 昭和25年 2月 第2代消防団長に水野保三氏就任
- 昭和26年 1月 消防本部設置委員会を置き検討  
4月 消防本部・署を設置。山崎市長が消防長事務取扱いに、常備部長広部儀一氏が消防本部次長に、副団長佐藤美子男氏が初代消防署長にそれぞれ就任  
職員21名、ポンプ車2台、水管車1台配備
- 昭和28年 8月 水槽付消防ポンプ自動車配備
- 昭和29年11月 鎌足村合併
- 昭和30年 2月 金田村合併  
財団法人日本消防協会から、木更津市消防団に対して表彰旗を授与  
3月 中郷村合併、消防団を統合、7個分団38個部、団員定数800名
- 昭和31年10月 北部地区に庁舎及び普通消防車1台の寄贈を受け高柳出張所開設  
職員8名、水槽付消防ポンプ自動車1台配備
- 昭和32年 3月 国家消防本部から、木更津市消防本部・消防団に対して表彰旗を授与  
4月 第3代消防団長に榎本武雄氏就任  
6月 中短波無線電話機整備（基地局1（本部）移動局2（本部、高柳出張所））  
9月 第4代消防団長に山田隆茂人氏就任  
10月 東部地区に長須賀出張所開設  
職員8名、水槽付消防ポンプ自動車1台配備
- 昭和33年 3月 旧庁舎を取り壊し、森林組合事務所（三会堂）庁舎を移築、その1階を消防庁舎として使用  
7月 広報車（ライトバン改造）を配備し予防広報活動を開始  
9月 救急車（ライトバン改造）を配備し本格的救急活動を開始
- 昭和35年 4月 木更津市危険物安全協会設立  
12月 本署配備の水管車を水槽付消防ポンプ自動車に更新整備

- 昭和39年 1月 化学対応水槽付消防自動車配備  
6月 第5代消防団長に高橋智氏就任
- 昭和40年 4月 指揮車（ジープ）配備  
6月 第6代消防団長に水野兼治氏就任  
10月 木更津市消防音楽隊発足（隊員16名）  
12月 君津郡市防犯協会から広報車の寄贈を受け、広報車更新
- 昭和41年 7月 救急車配備（本署）、木更津ロータリークラブから配備資金（100万円）の寄贈（ロータリークラブ号と命名）  
11月 無線電話の通話方式切替に備え超短波無線電話機整備（基地局用1基、移動局用1基）
- 昭和42年 2月 南部地区に桜井出張所開設  
職員6名、普通消防ポンプ自動車1台配備  
4月 職員定数61名  
市長職消防長事務取扱を廃し、初代専任消防長に佐藤美子男氏就任  
7月 本部・署の機構改革を行い課制に移行  
10月 超短波無線電話機移動局6基整備、中短波から超短波無線電話に切替
- 昭和43年 6月 救急車配備、木更津ライオンズクラブから配備資金（50万円）の寄贈（ライオンズクラブ号と命名）  
11月 無線電話機1基整備
- 昭和44年 2月 化学車配備（本署）  
4月 1署、3出張所、ポンプ車6台、救急車2台、指揮車1台、広報車1台、化学車1台  
職員定数65名
- 昭和45年 4月 職員定数66名
- 昭和46年 9月 君津郡富来田町と合併、消防団を統合し8個分団、45個部、団員定数850名
- 昭和47年 4月 職員定数85名  
11月 はしご付消防ポンプ自動車（30m級）配備（本署）  
木更津信用金庫から購入資金（1,000万円）の寄贈  
潮見2丁目8番地に消防庁舎移転（鉄筋コンクリート2階建新築）
- 昭和48年 4月 職員定数90名  
救急車配備（本署）、木更津ロータリークラブから配備資金（100万円）の寄贈（ロータリー2号と命名）  
6月 千葉県共済農業協同組合から救急車1台の寄贈（共済号と命名）  
12月 サカモトそごうから消防施設強化資金200万円寄贈
- 昭和49年 4月 第2代消防長に水野兼治氏就任  
職員定数101名  
第7代消防団長に江尻正氏就任  
5月 高柳出張所隣地へ移転（鉄骨2階建新築）

- 昭和50年 1月 職員定数106名  
 3月 富来田出張所開設（鉄骨2階建）  
 職員10名、水槽付消防ポンプ自動車1台配備  
 4月 元署長渡辺利助氏、勲七等青色桐葉章を受章  
 職員定数112名  
 5月 第8代消防団長に浦部三郎氏就任。浪花商事(株)から広報車（乗用車）の寄贈（浪花号と命名）  
 木更津ライオンズクラブから赤バイ（ホンダ125cc）の寄贈  
 7月 第9代消防団長に吉田政雄氏就任  
 16mm映写機整備、明王丸商事(株)から整備資金（50万円）の寄贈
- 昭和51年 9月 水槽付消防ポンプ自動車配備、松沢栄氏から購入資金（100万円）の寄贈  
 11月 元消防本部次長小籠光輝氏、勲六等単光旭日章を受章
- 昭和52年 3月 消防本部次長小堀浅次氏から音楽隊制服一式（100万円相当）の寄贈  
 7月 消防団組織一部改正により、団員定数800名  
 12月 救急指令装置B型を整備
- 昭和53年 3月 救急車配備、木更津ロータリークラブから配備資金（100万円）の寄贈（ロータリー3号と命名）  
 木更津信用金庫から指令車の寄贈（しんきん号と命名）  
 4月 第10代消防団長に鈴木四郎氏就任  
 12月 救急車配備、木更津金鈴ライオンズクラブから配備資金（100万円）の寄贈（金鈴号と命名）
- 昭和54年 3月 化学車配備（本署）  
 4月 元消防長佐藤美子男氏、勲六等瑞宝章を受章  
 職員定数122名
- 昭和55年 1月 (株)堀江商店から広報車寄贈  
 3月 本署に別棟車庫新設  
 4月 第11代消防団長に伊藤満男氏就任  
 元団長吉田政雄氏、勲六等単光旭日章を受章  
 11月 千葉敏雄氏から広報車及び救急訓練用人形（レサシアン）の寄贈
- 昭和56年 10月 防火基準適合表示制度が発足した
- 昭和57年 3月 桜井出張所下烏田に移転新築（鉄骨平屋建）、波岡出張所と改称  
 4月 第3代消防長に石井崇氏就任  
 消防団組織の一部改正、8個分団42個部、団員定数740名  
 11月 救助訓練塔（補助塔）設置
- 昭和58年 1月 長須賀出張所改築（鉄骨2階建）  
 5月 救助訓練塔（主塔）設置
- 昭和59年 3月 長須賀出張所に救急車を配備  
 4月 木更津市防火協会設立

- 昭和60年 3月 救助工作車配備（本署）市内建築業親和会から配備資金（1,000万円）の寄贈を受けた
- 4月 職員定数123名
- 12月 安田勝彦氏から連絡車（三菱パジェロ）の寄贈
- 昭和61年 4月 職員定数128名
- 清川出張所開設、職員8名、水槽付消防ポンプ自動車1台配備
- （財）木更津自動車学校からマイクロバスの寄贈
- 昭和62年 4月 第4代消防長に前原忠男氏就任
- 職員定数135名
- 薬丸病院から救急資機材（300万円相当）の寄贈
- 12月 （社）千葉県消防設備保守協会から広報車（140万円相当）の寄贈
- 昭和63年 4月 職員定数137名
- 共栄運輸株から指揮車（450万円相当）の寄贈
- 消防団組織の一部改正、8個分団41個部、団員定数700名
- 平成 元年 3月 指令室、事務室を改修し消防緊急情報システム（Ⅱ型）導入
- 4月 職員定数147名
- 組織の一部を改正、通信指令係を廃止し、本部警防課指令係とし、署に救助係を設置、消防音楽隊を総務課に所管替
- 消防団組織の一部改正、8個分団39個部
- 平成 2年 6月 乗用車（指揮2）購入（本部）
- 平成 3年 4月 職員定数151名、組織の一部を改正、警防課指令係を指令課に昇格
- 5月 第5代消防長に山村英男氏就任
- 10月 指揮車（指揮1）購入（本署）
- 平成 4年 2月 消防ポンプ自動車を更新整備（本署）
- 3月 清川出張所に屈折はしご付消防ポンプ自動車（20m級）を配備
- 木更津市消防発足40年記念誌「木更津消防のあゆみ」発刊
- 4月 職員定数155名
- 第12代消防団長に石渡幸雄氏就任
- 元消防長水野兼治氏、勲五等双光旭日章を受章
- 7月 木更津市消防団活性化対策検討委員会設置
- 12月 クレーン付災害資機材搬送車配備（本署）
- 平成 5年 1月 化学消防ポンプ自動車を更新整備（本署）
- 4月 職員定数165名
- 10月 指揮車（警防1）購入（本部）
- 12月 水槽付消防ポンプ自動車を更新整備（富来田分署）
- 平成 6年 4月 第6代消防長に中山頼次氏就任
- 11月 元消防本部消防司令 泉水一雄氏、勲六等単光旭日章を受章
- 12月 30m級はしご付消防自動車を38m級に更新整備（本署配備）

- 平成 7年 1月 広報車（予防1）購入（本部）  
阪神淡路大震災の被災地へ救援物資搬送の為、職員2名派遣
- 4月 第7代消防長に竹谷文秀氏就任  
職員定数185名  
組織の一部を改正、三部制とし、指令課に第1、2、3係、消防署の消防、救急、特別救助隊各第1、2、3係を置き、長須賀、富来田出張所を分署へ改称
- 12月 2B型救急車を高規格救急自動車に更新整備（本署）
- 平成 8年 2月 小型動力ポンプ積載車を小型動力ポンプ付積載車に更新整備（富来田分署）
- 5月 本市初の救急救命士誕生
- 10月 消防組織法に基づく木更津市消防職員委員会を設置  
金田分署開設、職員13名、水槽付消防ポンプ自動車1台配備
- 平成 9年 4月 第8代消防長に村松嘉明氏就任  
消防団組織の一部改正、団員定数663名
- 7月 元消防司令長 故君塚 博氏 従七位・勲六等単光旭日章受章
- 12月 東京湾横断道路開通、金田分署に救急自動車配備
- 平成10年 2月 金田分署に訓練塔建設
- 3月 木更津信用金庫から高規格救急自動車等の購入資金2,000万円の寄贈
- 4月 第9代消防長に地曳 昌氏就任  
初の女性消防吏員誕生
- 平成11年 2月 2B型救急車を高規格救急自動車に更新整備（金田分署）
- 3月 消防無線塔を市役所庁舎屋上に移転し建設  
救助工作車をII型に更新整備（本署）  
指揮車（指揮3）購入（本署）  
木更津市消防音楽隊の活動が休止
- 平成12年 2月 水槽付消防ポンプ自動車更新整備（本署）
- 4月 第10代消防長に渡辺庄一氏就任  
第13代消防団長に相田 清氏就任  
組織の一部を改正、総務課と警防課を統合して消防総務課に、消防課に指令係を設置
- 平成13年 2月 2B型救急車を高規格救急自動車に更新整備（富来田分署）  
水槽付消防ポンプ自動車を更新整備（長須賀分署）
- 4月 第11代消防長に鈴木靖雄氏就任
- 11月 元消防団副団長 齋藤 豊氏 勲六等瑞宝章受章
- 12月 富来田分署、旧富来田支所へ移転
- 平成14年 2月 2B型救急車を高規格救急自動車に更新整備（長須賀分署）
- 10月 明王丸商事(株)代表取締役会長 大森廣志氏より、煙体験ハウス一式の寄贈
- 11月 福島県会津若松市在住の吉田恭子氏より、救急車積載用電子血圧計4台及びポーターサインの寄贈
- 12月 消防本部構内電話交換機交換



- 平成15年 3月 水槽付消防ポンプ自動車を更新整備（波岡出張所）  
4月 第12代消防長に小久保健洋氏就任  
11月 元消防司令 鈴木市五郎氏及び元消防司令長 石田建太郎氏 第1回危険業務従事者叙勲 瑞宝単光章受章
- 平成16年 3月 消防緊急通信指令システム（Ⅱ型）更新整備（リース契約）  
木更津市防火協会から当協会設立20周年記念事業として、消火訓練用器材1台及び救急用資機材（バックボードキット）3セットの寄贈  
4月 第13代消防長に石塚 彰氏就任  
元消防司令長 清水吉三氏 第2回危険業務従事者叙勲 瑞宝単光章受章  
消防団長 相田 清氏 藍綬褒章受章  
6月 木更津市防火協会から木更津市防災協会へ名称を変更  
11月 元消防司令長 館林 昭氏 第3回危険業務従事者叙勲 瑞宝単光章受章
- 平成17年 1月 木更津市真舟在住の田中ムツイ氏から、防寒衣171着分及びAEDトレーニングシステム2台の寄贈  
3月 高規格救急自動車を更新整備（本署）  
元消防司令長 榎本 守氏 第4回危険業務従事者叙勲 瑞宝単光章受章
- 平成18年 4月 第14代消防団長に齊藤多喜雄氏就任  
11月 元消防司令長 高須 武氏 第7回危険業務従事者叙勲 瑞宝双光章受章  
元消防司令長 江野澤操氏 第7回危険業務従事者叙勲 瑞宝単光章受章
- 平成19年 1月 広報車（予防2）更新整備（本部）  
3月 消防本部庁舎訓練塔を撤去  
高規格救急自動車を更新整備（金田分署）  
水槽付消防ポンプ自動車を更新整備（高柳出張所）  
4月 第14代消防長に鈴木清一氏就任  
元消防司令長 榎本義男氏 第8回危険業務従事者叙勲 瑞宝双光章受章  
元消防司令長 近藤一弘氏 " "  
元消防司令長 伊島昭次氏 " 瑞宝単光章受章  
元消防司令長 柴崎文男氏 " "  
7月 新潟県中越沖地震の被災地へ救援物資搬送の為、職員2名派遣  
10月 木更津市消防団広報紙「纏」発行  
11月 元消防司令長 竹内善次氏 第9回危険業務従事者叙勲 瑞宝単光章受章  
元消防司令長 浦邊 功氏 " "  
12月 防火服一式更新整備（70着）及び防火長靴更新整備（70足）
- 平成20年 3月 38m級はしご付消防自動車のオーバーホールを実施  
4月 元消防司令長 鳥海三郎氏 第10回危険業務従事者叙勲 瑞宝双光章受章  
11月 元消防司令長 大森 茂氏 第11回危険業務従事者叙勲 瑞宝双光章受章  
元消防団長 石渡幸雄氏 瑞宝単光章受章  
12月 防火服一式更新整備（70着）  
元消防司令長 故齊藤 勇氏 従六位・瑞宝双光章受章

- 平成21年 4月 第15代消防長に泉水義治氏就任  
木更津市消防団・初の女性消防団員入団
- 8月 元消防司令長 故小箆俊久氏 従六位・瑞宝双光章受章
- 10月 木更津市消防団員・地震災害対応マニュアル策定
- 11月 元消防監 中山頼次氏 第13回危険業務従事者叙勲 瑞宝双光章受章
- 12月 木更津市消防本部庁舎 一部耐震補強工事及び外壁改修工事完成
- 平成22年 3月 総務省消防庁から消防車両の無償貸与を受ける。(消防団第5分団第3部車両)
- 4月 元消防監 竹谷文秀氏 第14回危険業務従事者叙勲 瑞宝双光章受章  
元消防司令長 北村 博氏 " "  
元消防団長 相田 清氏 瑞宝双光章受章
- 9月 共栄海運(株)及び共栄運輸(株)から木更津市に寄贈された電気自動車(三菱自動車製アイミーブ)を消防本部に所管換えをし、防災指導車として使用
- 11月 元消防監 地曳 昌氏 第15回危険業務従事者叙勲 瑞宝双光章受章  
元消防司令長 鈴木 豊氏 " "  
元消防司令長 関口 勇氏 " "  
元消防司令 故鈴木市五郎氏 従七位追贈
- 平成23年 3月 平成23年3月11日午後2時46分ごろ、太平洋三陸沖でマグニチュード9.0の巨大地震が発生し、木更津市においても震度5弱を観測 東北地方太平洋沖地震(のちに「東日本大震災」と呼称)により東北地方で甚大な被害が発生したことから消防庁長官からの命により、緊急消防援助隊として、消火部隊及び後方支援部隊を岩手県陸前高田市に派遣(7名)  
(派遣日 平成23年3月20日~3月22日)
- 4月 組織の一部改正  
消防課を廃止し、第1・第2・第3警防隊へ改称し、更に、第1・第2・第3指揮隊を創設  
元消防司令長 柴田八正氏 第16回危険業務従事者叙勲 瑞宝双光章受章  
東日本大震災に伴い、緊急消防援助隊として救急部隊及び後方支援部隊を福島県に派遣(10名)  
(派遣日 平成23年4月5日~4月9日、4月9日~4月13日各5名)
- 5月 東日本大震災に伴い、緊急消防援助隊として救急部隊及び後方支援部隊を福島県に派遣(10名)  
(派遣日 平成23年5月27日~5月31日、5月31日~6月4日各5名)
- 10月 東日本大震災に緊急消防援助隊として出動した功績に対して本市消防本部が受章(千葉県知事表彰及び全国消防長会会長表彰)
- 平成23年11月 東日本大震災に緊急消防援助隊として出動した功績に対して本市消防本部が受章(総務大臣表彰)  
木更津市消防発足60周年記念として市川由紀乃氏による歌謡コンサート実施
- 平成24年 1月 (株)エノモト防災工業から式台及びAEDトレーナー2体の寄贈

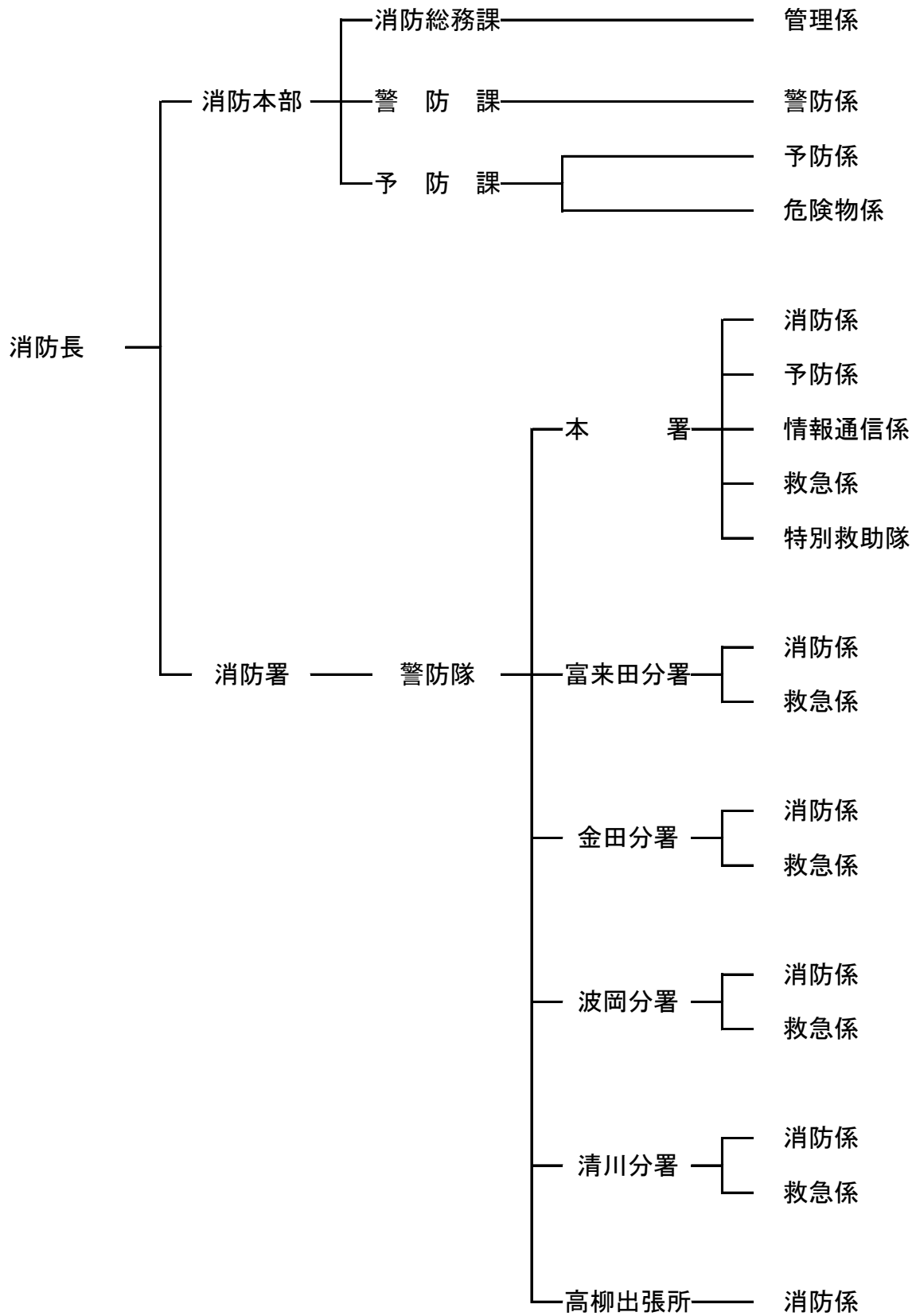
- 平成24年 3月 高規格救急自動車を更新整備（富来田分署）  
4月 第16代消防長に須藤宏一氏就任  
第15代消防団長に竹内克哉氏就任
- 平成25年 2月 清川出張所の屈折はしご付消防ポンプ自動車を15m級はしご付消防ポンプ自動車  
に更新整備  
3月 ちば消防共同指令センターに119番通報等切替  
高規格救急自動車を更新整備（長須賀分署）  
4月 ちば消防共同指令センター正式運用  
第17代消防長に篠田清隆氏就任  
波岡出張所に高規格救急自動車を新規配備  
波岡出張所を波岡分署へ格上げし運用開始  
消防団組織の一部改正、団員定数600名  
元消防団長 齊藤多喜雄氏 瑞宝双光章受章  
元消防司令長 重城安彦氏 第20回危険業務従事者叙勲 瑞宝単光章受章
- 平成26年 3月 消防署の化学消防ポンプ自動車を更新整備  
富来田分署の消防ポンプ自動車（CAFS付）を更新整備  
4月 元消防監 鈴木清一氏 第22回危険業務従事者叙勲 瑞宝双光章受章  
元消防司令長 浦邊金吾氏 // 瑞宝単光章受章  
8月 元消防司令長 故葛田直史氏 従六位・瑞宝単光章  
11月 元消防司令長 阿部 徳氏 第23回危険業務従事者叙勲 瑞宝双光章受章
- 平成27年 2月 高規格救急自動車を更新整備（消防署）  
3月 木更津市消防本部庁舎建設基本計画及び消防署所適正配置調査書を策定  
（一般財団法人 消防科学総合センター 監修）  
4月 元消防司令長 市川 悟氏 第24回危険業務従事者叙勲 瑞宝双光章受章  
元消防司令長 鈴木由郎氏 // //
- 9月 緊急消防援助隊として、消火小隊及び後方支援小隊を茨城県常総市に派遣（8名）  
（派遣日 平成27年9月15日～9月17日）  
11月 本部指揮2を更新整備
- 平成28年 1月 平成27年9月関東・東北豪雨に緊急消防援助隊として出動した功績に対して本市  
消防本部が受章（消防庁長官表彰）  
2月 木更津市消防本部庁舎建設基本設計を完了  
（榎本建築設計事務所 監修）  
3月 平成27年9月関東・東北豪雨に緊急消防援助隊として出動した功績に対して本市  
消防本部が受章（千葉県知事表彰）  
指揮隊用の指揮車を新たに整備  
4月 第18代消防長に時田啓美氏就任  
第16代消防団長に地曳貞夫氏就任  
機能別消防団の発足（女性消防団・部員13名）  
元消防司令長 横田 彰氏 第26回危険業務従事者叙勲 瑞宝単光章受章

- 平成28年11月 元消防司令長 小泉 俊行氏 第27回危険業務従事者叙勲 瑞宝単光章受章
- 平成29年 2月 木更津市消防本部庁舎建設実施設計を完了  
(株榎本建築設計事務所 監修 )
- 4月 第19代消防長に安田 勇氏就任  
組織の一部を改正  
警防課を新設(消防本部:3課体制 消防総務課・警防課・予防課)  
元消防司令長 山中 裕氏 第28回危険業務従事者叙勲 瑞宝双光章受章
- 9月 木更津市消防本部庁舎建設着工
- 11月 元消防司令長 波多野正巳氏 第29回危険業務従事者叙勲 瑞宝単光章受章
- 平成30年 2月 消防団活動により地域に貢献した大学生等の就職活動等を支援するために創設した  
「木更津市学生消防団活動認証制度」に係る認証状の第1号交付  
木更津市消防団 機能別分団女性部 班長 宗政 佳波氏  
(3月に認証状交付式を開催)
- 4月 職員定数195名  
元消防監 泉水義治氏 第30回危険業務従事者叙勲 瑞宝双光章受章  
元消防司令長 小原義忠氏 第30回危険業務従事者叙勲 瑞宝単光章受章
- 11月 元消防司令長 竹山昭治氏 第31回危険業務従事者叙勲 瑞宝双光章受章  
木更津市消防音楽隊規程を廃止
- 平成31年 2月 金田分署の水槽付消防ポンプ自動車を更新整備
- 3月 消防署の40m級はしご自動車を更新整備
- 4月 第20代消防長に岡田清治氏就任  
機能別消防団の発足(学生消防団・部員22名)
- 令和 元年 5月 元消防司令長 鳥海正彦氏 第32回危険業務従事者叙勲 瑞宝単光章受章
- 令和 元年 7月 木更津市消防本部庁舎竣工(7月31日)
- 令和 元年 8月 木更津市消防本部庁舎竣工式(8月23日)  
(株エノモト防災工業から子供用放水体験資機材(こども消防車)及び子供用防火服一式の寄贈  
ソニーグローバルマニュファクチャリング&オペレーションズ(株)木更津サイトからAV機器(液晶テレビ、ブルーレイレコーダー、プロジェクター、スクリーン、テレビ台)一式の寄贈  
日建(株)から演台(大、小)、花台及び消防旗の寄贈
- 令和 元年 9月 木更津市消防本部・消防署移転運用開始(9月1日)
- 令和 元年10月 消防署所再配置計画に基づき長須賀分署を廃止し、長須賀分署の水槽付き消防ポンプ自動車を本署へ配備、高規格救急自動車を清川出張所へ配備  
清川出張所を清川分署へ格上げし運用開始(10月1日)  
長須賀分署廃止に伴い、消防団第3分団第1部詰所として運用開始
- 令和 元年11月 元消防司令長 長谷川敏彦氏 第33回危険業務従事者叙勲 瑞宝単光章受章
- 令和 元年12月 本市初の木更津市消防団協力事業所表示証の交付(明王丸商事株式会社)
- 令和 2年 4月 組織の一部を改正 消防署本署に予防係、情報通信係を設置

# 総務関係

# 1. 消防本部の機構図

(令和2年4月1日現在)



## 2. 市一般会計予算と消防予算の推移

令和2年4月1日現在

年 度	一般会計 当初予算 (千円) A	消防費 当初予算 (千円) B	構成費 B/A (%)	消防費当初予算内訳 (千円)			市民一人 当りの消防 予算額 (円)
				常備 消防費	非常備 消防費	消防 施設費	
24	38,330,000	1,857,087	4.8	1,343,312	47,766	466,009	14,327
25	36,070,000	1,573,769	4.4	1,362,648	47,693	163,428	10,342
26	39,110,000	1,529,956	3.9	1,369,138	45,976	114,842	11,569
27	40,410,000	1,500,682	3.7	1,366,577	44,645	89,460	11,279
28	40,530,000	1,597,507	3.9	1,390,868	47,212	159,427	11,919
29	43,720,000	1,804,119	4.1	1,397,956	49,385	356,778	13,449
30	43,260,000	3,103,679	7.2	1,441,256	46,356	1,616,067	22,999
1	44,946,000	1,740,250	3.9	1,507,784	60,466	172,000	12,876
2	47,029,000	1,757,878	3.7	1,485,133	55,478	217,267	12,983

## 3. 職員の配置

令和2年4月1日現在

階級別 配置先		消防監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士	その他 の職員	計	
		消防 本部	消防長	1							
消防総務課			1	1	1		2	1		6	
警防課			1	1	1	2	2			7	
予防課			2		1	4	3			10	
小計	1		4	2	3	6	7	1		24	
消防 署	署長		1							1	
	副署長		1							1	
	本署			9	12	15	4	6	18		64
		指令センター			1	2	1				4
	富来田分署		1	3	6	3	3	5		21	
	金田分署		1	3	4		6	7		21	
	波岡分署		1	3	4	2	6	5		21	
	清川分署		1	3	6	2	4	5		21	
高柳出張所			3	1	1	4	3		12		
小計		15	28	38	13	29	43		165		
合計		1	19	30	41	19	36	44		190	

※千葉県出向者1名・木更津市役所出向者4名を人員から除く

※指令センターは、千葉市ほか10市1町8一部事務組合消防指令事務協議会への出向者を記載

#### 4. 年齢別及び階級別消防吏員数

令和2年4月1日現在 (人)

階級別 年齢別	消防監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士	計	うち女性 消防吏員
18歳							1	1	
19歳							3	3	
20歳							6	6	
21歳							6	6	
22歳							5	5	
23歳							8	8	
24歳						4	7	11	
25歳						1	4	5	
26歳						3	1	4	
27歳						2	2	4	1
28歳					1	5	1	7	
29歳						3		3	
30歳						7		7	
31歳					1	4		5	1
32歳									
33歳					1	2		3	
34歳					3			3	
35歳						2		2	
36歳				1	2	3		6	
37歳					1			1	
38歳				1	4			5	
39歳				1	3			4	
40歳					1			1	
41歳				6	1			7	
42歳				2	1			3	
43歳				5				5	
44歳				6				6	
45歳			2	9				11	
46歳			1	5				6	
47歳			2	3				5	
48歳			3					3	
49歳			8					8	
50歳			1	2				3	
51歳		2	3					5	
52歳		6	4					10	
53歳			5					5	
54歳		2						2	
55歳		2						2	
56歳		3						3	
57歳		1	1					2	
58歳									
59歳	1	3						4	
60歳									
合計	1	19	30	41	19	36	44	190	2
平均年齢	59.0歳	54.4歳	50.0歳	43.9歳	36.6歳	29.4歳	22.5歳	37.5歳	29.0歳

※千葉県出向者1名・木更津市役所出向者4名を人員から除く



## 5. 職員の教育研修の状況

区分	年度別									計
	24年度以前	25	26	27	28	29	30	1		
消防 大学校	幹部科		1	1	1	1				4
	上級幹部科	1								1
	警防科	2								2
	救助科	2			1			1		4
	救急科	1								1
	予防科	2					1			3
千葉県 消防学校	初任科	224	8	10	12	8	10	7	8	287
	救助科	33	2			3		3	2	43
	警防科	8								8
	訓練指導科	39	2	2	2	2	2	2	2	53
	救急科(救急Ⅰ課程53名・救急Ⅱ課程21名含)	135	4	3	3	3	2	2	2	154
	気管挿管講習	3								3
	薬剤投与講習	4								4
	気管挿管・薬剤投与講習	9								9
	処置拡大2行為追加講習				3	4	4	10	1	22
	一般救命士再教育								2	2
	救急隊長再教育								2	2
	初級幹部科	4								4
	中級幹部科	12	2	2	2	2	2	1	1	24
	幹部特別研修	8								8
	特殊災害科						1	2	2	5
	水難救助科								2	2
	予防科危険物課程及び危険物科	5		1			1		1	8
予防 火調及び査察科	24	3	2	2	1	2	4	4	42	
財 振 救 団 興 急	救急救命士養成	15		1	1	1	1	1	1	21
	指導救命士養成							1	1	2
ア 市 カ 町 デ 村 ミ ー	財政運営研修	1								1
	パソコン研修	5								5
	行政課程研修	1								1
	災害に強い地域づくりと危機管理							1		1
	法令実務							1	3	4
千葉県 自治研修 センター	課長研修6名・課長補佐研修3名	9								9
	係長研修								2	2
	JST指導者研修	3								3
	法制執務研修	12						3		15
	財務研修	7					1	1	1	10
	契約事務研修	4	1	1				1	1	8
	行政課程研修	1								1
	クレーム対応(個人)研修					1				1
	議会答弁対応能力向上研修					1	1			2
	ロジカル・ライティング研修					1				1
	ハラスメント防止研修						1			
	折衝・交渉能力向上研修						1			
	危機管理・マスコミ対応研修					1				1
	コミュニケーションスキルアップ研修							1		1
	プレゼンテーション								1	1
コンプライアンス研修							1		1	
そ の 他	移動式小型クレーン技能講習	25	1	2	3		5		6	42
	玉掛技能講習	16	2	5	3		5		3	34
	酸素欠乏・硫化水素作業主任講習				9		12			21
	溶接技能講習	18						5		23
	ロープレスキュー講習							4	3	7

## 6. 機械器具・建造物等の現況

令和2年4月1日

配置先 区分		消 防 本 部					消 防 団								計	
		本部・本署	富来田分署	金田分署	波岡分署	清川分署	高柳出張所	1分団	2分団	3分団	4分団	5分団	6分団	7分団		8分団
車 両	はしご車消防自動車 (40 m 級)	1														1
	はしご付消防ポンプ 自動車(15 m 級)					1										1
	救 助 工 作 車	1														1
	化学消防ポンプ自動車	1														1
	水槽付消防ポンプ自動車	2	1	1	1	1	1									7
	消 防 ホ ン プ 自 動 車	1						1	1		2	1	1			7
	小型動力ポンプ付積載車		1					1	4	4	4	2	6	4	6	32
	救急自動車(高規格)	2	1	1	1	1										6
	指 揮 車	3														3
	クレーン付資機材搬送車	1														1
	広 報 車	2														2
	そ の 他 の 車 両	2														2
	計	16	3	2	2	3	1	2	5	4	6	3	7	4	6	64
	建 造 物	消 防 庁 舎	1	1	1	1	1	1								
消 防 団 詰 所								2	5	4	6	3	7	4	5	36
訓 練 塔		1		1												2
ホ ー ス 乾 燥 施 設		1	1	1	1	1	1	2	5	3	6	3	5	4	5	39

予 防 関 係

## 7. 防火対象物現況表

令和2年3月31日現在

区分	用途例	対象数
1	イ 劇場、映画館、演芸場、観覧場	
	ロ 公会堂、集会場	45
2	イ キャバレー、カフェ、ナイトクラブ等	
	ロ 遊技場、ダンスホール	8
	ハ 性風俗店舗等	
	ニ カラオケボックス、個室ビデオ等	5
3	イ 待合、料理店等	3
	ロ 飲食店	107
4	百貨店、マーケット、物品販売店舗、展示場	234
5	イ 旅館、ホテル、宿泊所等	81
	ロ 寄宿舍、下宿、共同住宅	1,230
6	イ 病院、診療所、助産所	83
	ロ 老人短期入所施設、特別養護老人ホーム、有料老人ホーム(主として要介護状態にある者を入居させるものに限る。)、重症心身障害児施設等	61
	ハ 老人デイサービスセンター、老人福祉センター、有料老人ホーム(主として要介護状態にある者を入居させるものを除く。)、児童養護施設等	105
	ニ 幼稚園、特別支援学校	16
7	小学校、中学校、高等学校、大学、各種学校等	147
8	図書館、博物館、美術館等	4
9	イ 公衆浴場のうち蒸気浴場、熱気浴場等	1
	ロ イに掲げる以外の公衆浴場	6
10	車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場	2
11	神社、寺院、教会等	21
12	イ 工場、作業場	223
	ロ 映画スタジオ、テレビスタジオ	
13	イ 自動車車庫、駐車場	32
	ロ 飛行機又は回転翼航空機の格納庫	11
14	倉庫	271
15	前各項に該当しない事業場	529
16	イ 特定防火対象物が存する複合用途防火対象物	234
	ロ イに掲げる以外の複合用途防火対象物	86
16の2	地下街	
16の3	準地下街	
17	重要文化財、民俗資料、史跡等	2
18	延長50メートル以上のアーケード	
19	市町村の指定する山林	
20	総務省令で定める舟車(省令第5条)	
計		3,547

## 8. 中高層建築物現況表

令和2年3月31日現在

区分	用途例	3階	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	12階	13階	14階	合計
1	イ 劇場、映画館、観覧場等													
	ロ 公会堂、集会場	4	1											5
2	イ キャバレー、ナイトクラブ等													
	ロ 遊技場、ダンスホール													
	ハ 性風俗店舗等													
	ニ カラオケボックス、個室ビデオ等													
3	イ 待合、料理店等		1											1
	ロ 飲食店	5	2											7
4	百貨店、マーケット等	8	4											12
5	イ 旅館、ホテル、宿泊所等	6	3	1	2	3		1	1		1			18
	ロ 寄宿舍、共同住宅等	226	60	50	7	5	3	2	2	1	1	4	2	363
6	イ 病院、診療所等	8	2	3	3				1					17
	ロ 老人短期入所施設、重症心身障害児施設等	13	4	1										18
	ハ 老人デイサービスセンター、児童養護施設等	2	2		1									5
	ニ 幼稚園、特別支援学校													
7	小中高等学校、大学等	31	12	6						1				50
8	図書館、博物館等	1												1
9	イ 蒸気、熱気浴場													
	ロ イ以外の浴場			1										1
10	車両の停車場、船舶、航空機の発着場	1												1
11	神社、寺院、教会等	2	1											3
12	イ 工場、作業場	5	3											8
	ロ 映画スタジオ、テレビスタジオ													
13	イ 自動車車庫、駐車場													
	ロ 飛行機格納庫	1												1
14	倉庫	7	3											10
15	各号に該当しない事業所	65	26	16	8	1								116
16	イ 複合用途	67	26	17	5	2	4	1	1					123
	ロ イ以外の複合用途	37	15	2	1			1						56
計		489	165	97	27	11	7	5	5	2	2	4	2	816

## 9. 火災予防条例届出件数

令和元年度

種別	月 別													計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
防火対象物使用開始届	14	8	23	13	12	10	13	9	6	14	18	12	152	
炉														
温風暖房機							1						1	
厨房設備							1						1	
ボイラー	2		2						1				5	
壁付暖炉														
乾燥設備	1		1				1						3	
サウナ設備														
給湯湯沸設備			3		2			2					7	
ヒートポンプ冷暖房機						7							7	
変電設備	3	1	5	3	2	5	1	7	22	3	2	1	55	
発電設備	2					1	1	2	2		1		9	
蓄電池設備								1	1		1	1	4	
ネオン管灯設備														
指定洞道等														
少量危険物	1	1	1	1	1	1	4		4	1	1		16	
指定可燃物									1			1	2	
合 計	23	10	35	17	17	24	22	21	37	18	23	15	262	

## 10. 建築許可等の同意件数

令和元年度

種別	月 別													計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
新 築	11	17	15	13	16	16	11	21	16	13	10	20	179	
増 築	2	2		1	2		1	1	1		1	1	12	
改 築														
移 転														
増 改 築														
模 様 替														
用 途 変 更					1								1	
そ の 他	1	1		1	1		1			1	1		7	
合 計	14	20	15	15	20	16	13	22	17	14	12	21	199	

# 11. 消防用設備等設置届出件数

令和元年度

月 別 対象種別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
消火器	12	4	15	12	8	9	4	4	4	7	14	4	97
屋内消火栓設備	3		2	1									6
スプリンクラー設備	7	1	1	2	1		2	2	2	2		1	21
泡消火設備								1			1		2
不活性ガス消火設備													
ハロゲン化物消火設備													
粉末消火設備										1			1
屋外消火栓設備				1									1
動力消防ポンプ設備													
自動火災報知設備	10	2	16	13	8	7	11	7	6	9	11	11	111
ガス漏れ火災警報設備													
漏電火災警報器								1					1
火災通報装置		2		4			1	2			1	2	12
非常警報設備	10	1	4	3	3	1	2	1	2	3	3		33
避難器具		1	5	4		1		1	2	3	3		20
誘導標識		2	3		3	3		2				3	16
誘導灯	7	1	11	9	4	8	4	5	3	6	10	7	75
消防用水					1								1
排煙設備													
連結散水設備													
連結送水管	1									2			3
非常コンセント設備										2			2
パッケージ型自動消火設備													
パッケージ型消火設備													
計	50	14	57	49	28	29	24	26	19	35	43	28	402

## 12. 防火管理者選任対象物数

令和2年3月31日現在

区分	対象物		甲種防火対象物		乙種防火対象物		合計
	用途例		単一権原	複数権原	単一権原	複数権原	
1	イ	劇場、映画館、観覧場等					
	ロ	公会堂、集会場	31		7		38
2	イ	キャバレー、ナイトクラブ等					
	ロ	遊技場、ダンスホール	6		1		7
	ハ	性風俗店舗等					
	ニ	カラオケボックス、個室ビデオ等	3		2		5
3	イ	待合、料理店等	2		1		3
	ロ	飲食店	30	1	56	2	89
4		百貨店、マーケット等	135		63		198
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所等	35				35
	ロ	寄宿舍、共同住宅等	47				47
6	イ	病院、診療所等	43		3		46
	ロ	老人短期入所施設、重症心身障害児施設等	60				60
	ハ	老人デイサービスセンター、児童養護施設等	33		8		41
	ニ	幼稚園、特別支援学校	14				14
7		小中高等学校、大学等	91		1		92
8		図書館、博物館等	4				4
9	イ	蒸気、熱気浴場					
	ロ	イ以外の浴場	2				2
10		車両の停車場、船舶、航空機の発着場	1				1
11		神社、寺院、教会等	9		3		12
12	イ	工場、作業場	21				21
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ					
13	イ	自動車車庫、駐車場					
	ロ	飛行機格納庫	2				2
14		倉庫	1				1
15		各号に該当しない事業所	104		23	1	128
16	イ	複合用途	118	20	13	2	153
	ロ	イ以外の複合用途	119	1			120
17		重要文化財					
合計			911	22	181	5	1,119



### 13. 危険物施設の許認可状況

令和元年度

許可別 製造所等の別		許 可		完 成 検 査		仮使用	廃 止
		設置	変更	設置	変更		
製 造 所			3		3	3	
貯 蔵 所	屋内貯蔵所				1		1
	屋外タンク貯蔵所						1
	屋内タンク貯蔵所						
	地下タンク貯蔵所		2		2	2	2
	簡易タンク貯蔵所						
	移動タンク貯蔵所	6		8	2		4
	屋外貯蔵所						
小 計		6	5	8	8	5	8
取 扱 所	給油取扱所	2	4	1	3	4	3
	販売取扱所						
	一般取扱所		9		12	5	1
小 計		2	13	1	15	9	4
合 計		8	18	9	23	14	12

### 14. 年度別危険物施設数の推移

年 度		26	27	28	29	30	1
製造所等の別							
製 造 所		2	2	2	2	2	2
貯 蔵 所	屋内貯蔵所	62	62	64	64	64	63
	屋外タンク貯蔵所	53	53	53	50	49	48
	屋内タンク貯蔵所	7	7	7	7	7	7
	地下タンク貯蔵所	58	60	59	58	58	56
	簡易タンク貯蔵所						
	移動タンク貯蔵所	97	97	99	94	96	102
	屋外貯蔵所	19	19	19	19	19	19
小 計		298	300	303	294	295	297
取 扱 所	給油取扱所	58	60	57	56	57	55
	販売取扱所	2	2	2	2	2	2
	一般取扱所	55	56	55	55	57	56
小 計		115	118	114	113	116	113
合 計		413	418	417	407	411	410

火 災 関 係

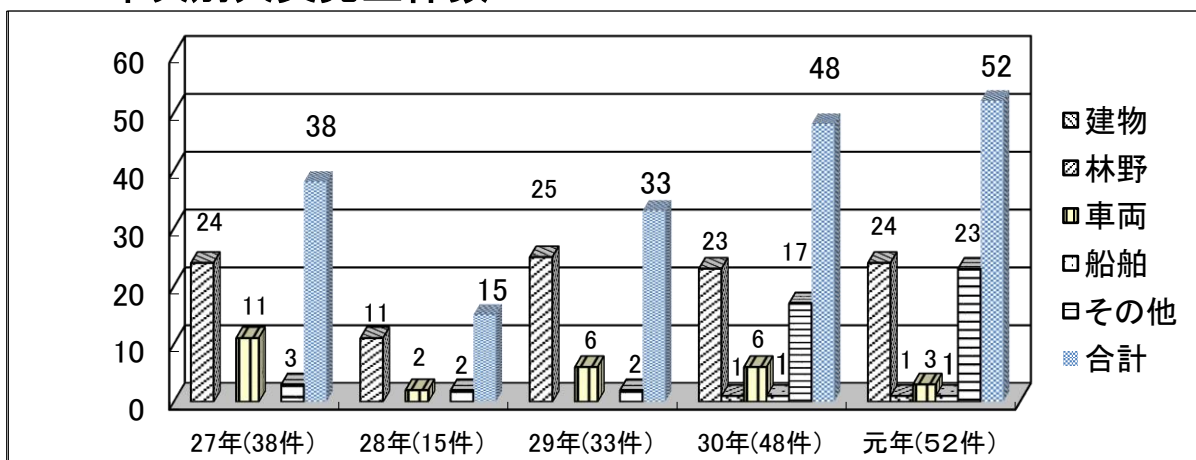
## 15. 出火原因別火災発生状況

令和元年

原因別	火災種別						合計
	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	
放火						1	1
放火の疑い	4					1	5
たき火		1				6	7
火遊び	1						1
こんろ	4						4
たばこ						1	1
電灯線等の配線	3		1				4
風呂・かまど							
マッチ・ライター							
ストーブ	3						3
煙突・煙道							
その他	3			1		5	9
不明	6		2			9	17
合計	24	1	3	1		23	52

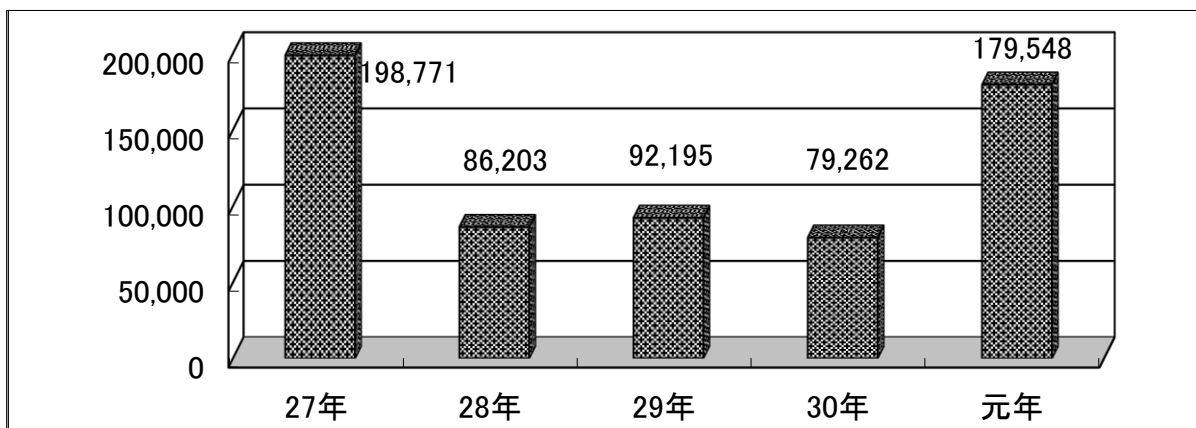
## 16. 年次別火災発生件数

(件)



## 17. 年次別火災損害額

(千円)



# 18. 月別火災発生状況

令和元年

区分 月別	火災件数						建物火災における焼損棟数					り 災 世 帯	り 災 者 数	死 者 数	負 傷 者 数	焼損面積等					損害額(千円)									
	建 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他	合 計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や					合 計	建 物 ( ㎡ )	林 野 ( a )	車 両 ( 台 )	船 舶	航 空 機	建 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他	合 計		
合計	24	1	3	1		23	52	9	1	14	16	40	20	44	3	7	1,177.26	1	3				178,652		753				143	179,548
1月	3	1				8	12	6		8	2	16	6	8	2		583.46	1					25,911						25,911	
2月	2					1	3	2		1	1	4	1	3	2		114.67						4,885						4,885	
3月	3					2	5				3	3	1	4	1		0.5										2	2		
4月	1					3	4				1	1			1												3	3		
5月	2		1				3		1	1	2	4	3	6			86.89		1				2,473		297				2,770	
6月																														
7月	1			1			2			1		1					1.02													
8月	2					3	5				2	2											165						165	
9月	3		2			1	6			2	1	3	6	17	2		257.24		2				102,368		456		138	102,962		
10月	1					2	3				1	1	1	1																
11月	1					1	2				1	1																		
12月	5					2	7	1		1	2	4	2	5	2		133.48						42,850						42,850	

※建物の焼損面積は、焼損床面積となります。

### 19. 曜日別・時間別火災発生状況

令和元年

曜日 時間	曜日								合計
	日	月	火	水	木	金	土	合計	
計	5	8	6	14	4	8	7	52	
0～						1		1	
1～				1				1	
2～									
3～									
4～									
5～									
6～			1					1	
7～		1						1	
8～		1						1	
9～	2			1	1		1	5	
10～		2		1		1		4	
11～			2	2				4	
12～	1	1		1		1	1	5	
13～									
14～									
15～			1	3		1		5	
16～		2	1	2		3		8	
17～	1			1	2			4	
18～							2	2	
19～			1					1	
20～					1		1	2	
21～				1		1	2	4	
22～	1	1						2	
23～									
不明				1				1	

### 20. 署所別火災発生率

令和元年

管内	発生率		建物		林野		車両		船舶		航空機		その他		合計	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
本署	6	25							1	100			3	13	10	19
長須賀	4	17											4	17	8	15
富来田													5	22	5	10
金田	5	21			1	33							3	13	9	17
高柳	4	17											3	13	7	13
波岡	2	8	1	100	1	33							3	13	7	13
清川	3	13			1	33							2	9	6	12
合計	24	100	1	100	3	100	1	100					23	100	52	100

## 21. 火災による死傷者状況(平成22年から令和元年まで)

### 年別死傷者数

区分	年										合計
	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	
死者数	2	2	1	3	6	6	3	3	1	3	30
負傷者数	10	6	4	4	9	6	5	4	4	7	59

### 死者の時間別発生状況

時間別	0時～	3時～	6時～	9時～	12時～	15時～	18時～	21時～	不明	合計
死者数	5	6	1	6		3	4	5		30

### 死者の発生した火災種別

火災種別	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	合計
死者数	21		3			6	30

### 死者の年齢別発生状況

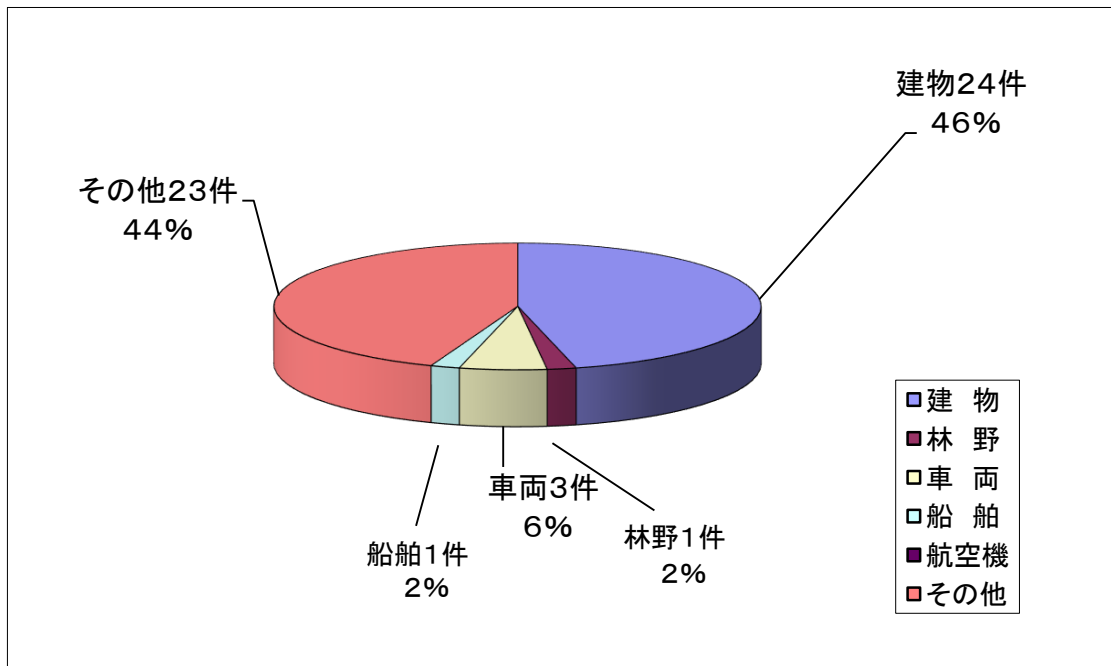
区 分	0～9	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	合計
男				2	1	3		5	9	20
女	1		1		1	2	1	1	3	10
合 計	1		1	2	2	5	1	6	12	30

### 死者の発生した経過及び理由

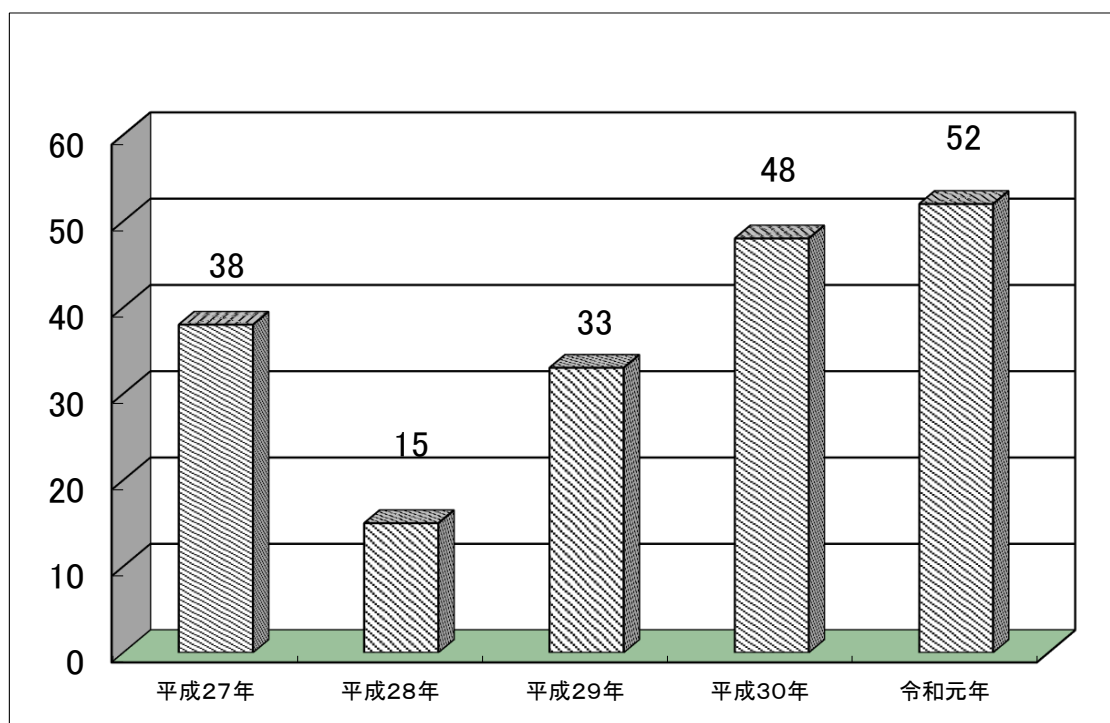
区分	年										合計
	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	
延焼が早かったため避難ができなかったと思われるもの		1		1	4		2				8
熟睡のため逃げ遅れたと思われるもの	1		1	2	1			2			7
体力的条件が悪く避難できなかったと思われるもの						1				2	3
放火自殺		1			1	2	1	1	1	1	8
その他	1					3					4
合 計	2	2	1	3	6	6	3	3	1	3	30

## 22. 火災件数に対する種別割合

令和元年



## 23. 年別の火災件数



警 防 関 係

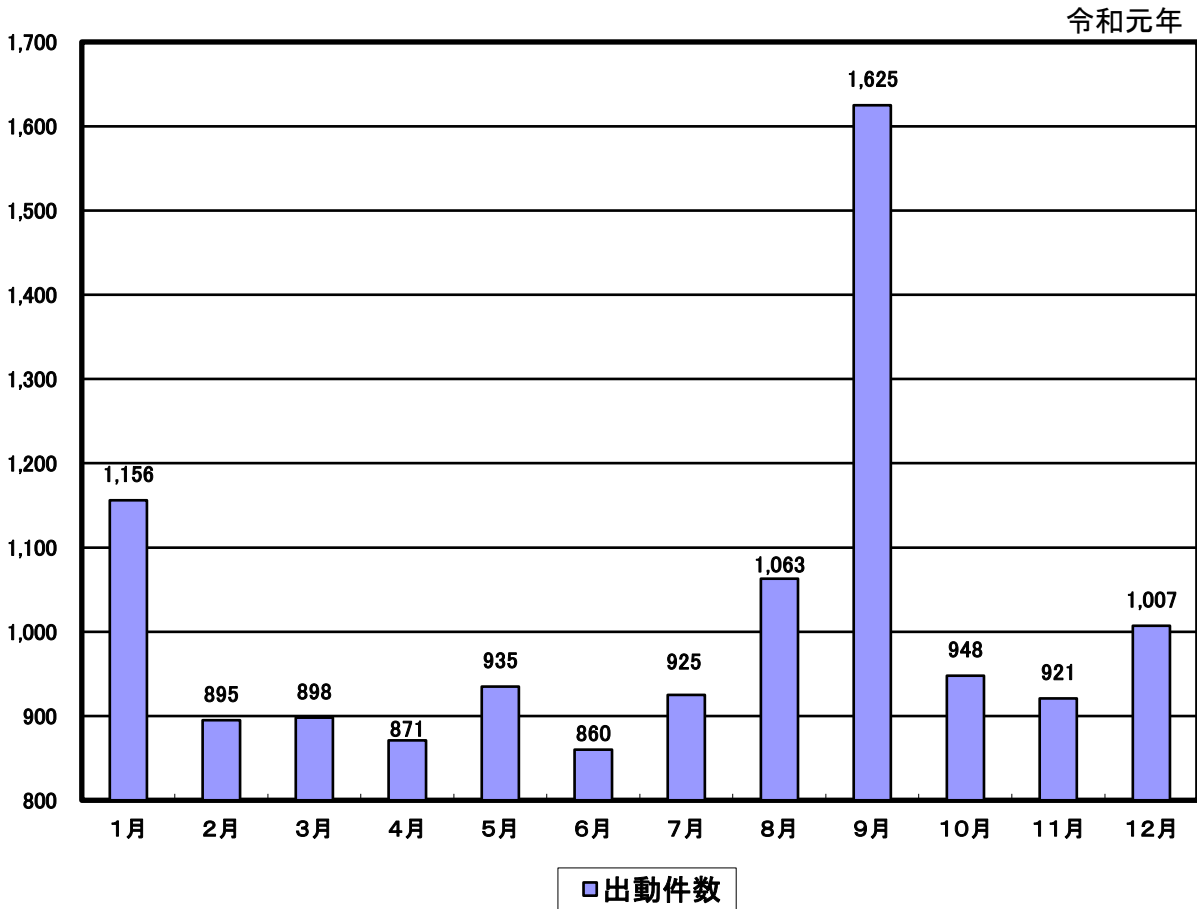


# 24. 消防の出動状況

令和元年

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火 災	回数	12	3	5	4	3	0	2	5	6	3	2	7	52
	台数	74	20	23	8	17	0	9	22	33	9	11	45	271
	延人員	225	65	68	24	53	0	29	63	107	26	35	140	835
救 急	回数	743	537	570	553	552	536	606	741	725	611	596	688	7,458
	台数	743	537	570	553	552	536	606	741	725	611	596	688	7,458
	延人員	2,229	1,611	1,710	1,659	1,656	1,608	1,818	2,223	2,175	1,833	1,788	2,064	22,374
救助・搜索	回数	10	8	8	9	7	5	8	6	15	9	11	13	109
	台数	71	42	42	37	39	20	42	83	87	46	49	74	632
	延人員	218	138	132	113	116	62	125	262	274	141	152	224	1,957
風 水 害	回数	0	0	0	0	0	2	0	0	134	26	0	1	163
	台数	0	0	0	0	0	4	0	0	140	28	0	2	174
	延人員	0	0	0	0	0	14	0	0	432	88	0	8	542
演習訓練	回数	46	126	29	83	81	83	69	37	27	33	23	70	707
	台数	46	126	29	119	122	85	87	48	30	33	30	76	831
	延人員	153	377	93	299	358	278	233	124	78	109	98	224	2,424
広 報	回数	0	0	0	0	1	0	0	0	24	1	2	2	30
	台数	0	0	0	0	1	0	0	0	24	1	2	2	30
	延人員	0	0	0	0	3	0	0	0	77	2	6	6	94
警防調査	回数	113	83	98	101	157	110	95	109	84	118	98	81	1,247
	台数	115	84	103	112	172	113	105	112	85	119	107	84	1,311
	延人員	361	290	325	336	514	355	313	345	261	379	331	253	4,063
特別警戒	回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	台数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
偵 察	回数	12	3	2	1	5	1	2	3	11	9	6	7	62
	台数	12	3	2	1	5	1	2	3	11	9	6	7	62
	延人員	41	11	6	3	16	3	7	9	35	29	21	23	204
漏油処理	回数	7	0	2	4	3	3	5	4	2	4	0	4	38
	台数	7	0	3	7	3	3	5	6	3	6	0	4	47
	延人員	23	0	11	19	9	11	16	19	9	20	0	12	149
火災原因調査	回数	7	3	5	9	2	4	11	3	1	3	1	8	57
	台数	7	3	5	9	2	4	11	3	1	3	1	8	57
	延人員	20	12	16	28	6	12	33	9	3	9	3	25	176
予防査察	回数	16	12	5	0	16	3	5	17	4	3	5	1	87
	台数	16	12	5	0	16	3	5	17	4	3	5	1	87
	延人員	51	38	16	0	48	9	10	53	13	9	15	3	265
その他 (救急支援・誤報・火災外等)	回数	190	120	174	107	108	113	122	138	592	128	177	125	2,094
	台数	203	166	202	120	141	124	136	188	614	170	201	150	2,415
	延人員	655	555	658	374	444	370	407	595	2,043	545	636	465	7,747
合 計	回数	1,156	895	898	871	935	860	925	1,063	1,625	948	921	1,007	12,104
	台数	1,294	993	984	966	1,070	893	1,008	1,223	1,757	1,038	1,008	1,141	13,375
	延人員	3,976	3,097	3,035	2,855	3,223	2,722	2,991	3,702	5,507	3,190	3,085	3,447	40,830

## 25. 消防の月別出動状況



## 26. 火災出動状況

令和元年

区分 月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
火災件数	12	3	5	4	3	0	2	5	6	3	2	7	52
出動件数	12	3	5	4	3	0	2	5	6	3	2	7	52
出動台数	74	20	23	8	17	0	9	22	33	9	11	45	271
放水台数	7	8	2	0	6	0	1	8	10	2	3	8	55
出動延人員	225	65	68	24	53	0	29	63	107	26	35	140	835

## 27. 応援協定等

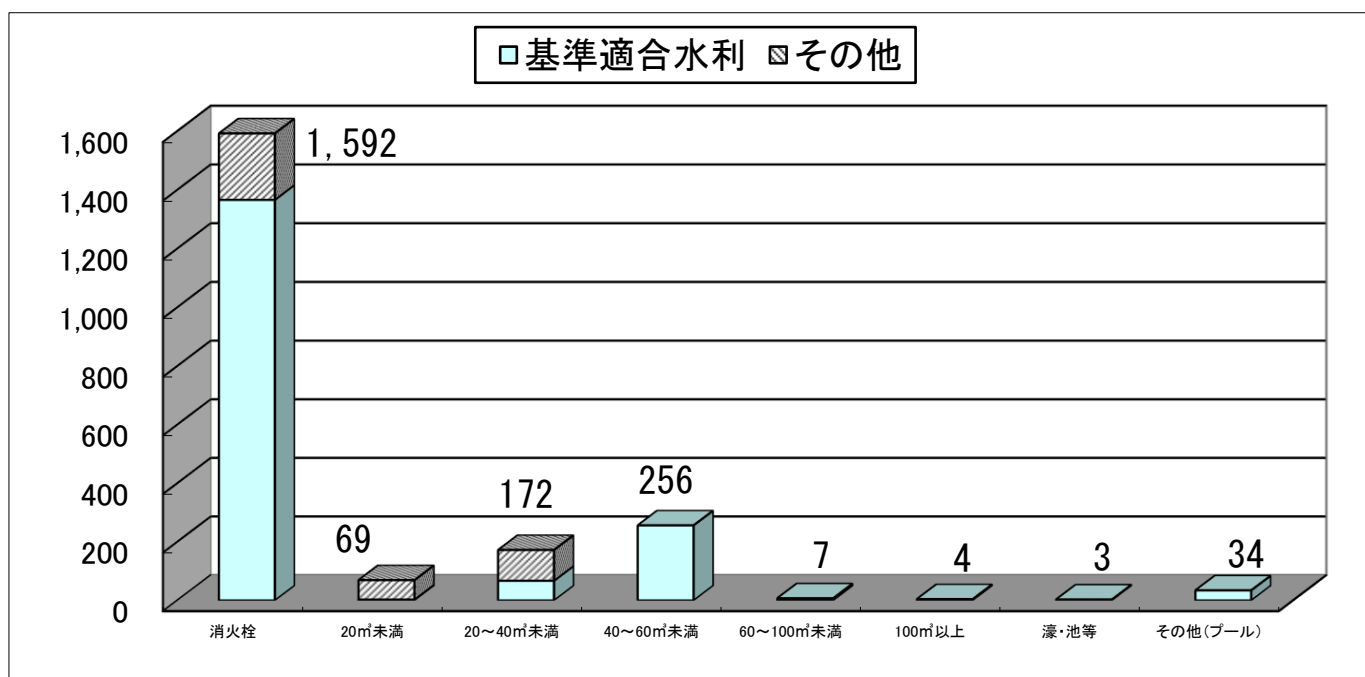
協定名	締結年月日	協定内容
千葉県広域消防相互応援協定	昭和40年7月19日	千葉県下全市町村及び一部事務組合が、大規模災害、産業災害その他災害の予防、鎮圧等に万全を期し、併せて市民の安定を図るため相互応援体制を確立し、不足の事態に対処するための協定 (千葉県下全市町村事務組合)
	改正昭和60年4月1日	団体名の変更及び一部の事務組合の結成等による改正
	改正平成4年4月1日	団体名の変更及び一部の事務組合の結成等並びにヘリコプターによる航空特別応援が新たに加わったことによる改正
	改正平成15年3月25日	一部改正及び火災調査等特別応援が新たに加わったことによる改正
	改正平成18年8月22日	消防組織法の改正に伴う、条の移動による改正
ちば消防共同指令センターにおける千葉県広域消防相互応援協定書第2条第1号に定める普通応援の運用に係る覚書	平成25年3月29日	ちば消防共同指令センター運用開始に伴う隣接市町村間での応援出動に係る覚書
木更津海上保安署と消防機関との業務協定	昭和46年6月1日	木更津市が管轄する沿岸、海上における船舶の火災について、双方が協力して円滑な消火活動を行うための協定 (木更津海上保安署、木更津市)
化学消火薬剤の備蓄管理に関する協定書	昭和52年11月1日	危険物等に起因する火災を鎮圧するため、千葉県が購入した化学消火剤の備蓄及び管理の委託に関する協定 (千葉県、木更津市)
	改正昭和57年10月31日	期間変更による改正
陸上自衛隊木更津飛行場周辺で航空事故及び航空事故に伴う災害が発生した場合の連絡・調整に関する協定書	昭和54年4月3日	陸上自衛隊木更津飛行場周辺で航空事故に伴う災害が発生した場合の連絡・調整に関する協定を締結 (陸上自衛隊第1ヘリコプター団、木更津市)
千葉県石油コンビナート防災相互通信無線設備の管理運営に関する協定書	昭和55年4月1日	千葉県石油コンビナート等特別防災区域の災害時における防災関係機関の相互通信連絡手段の整備充実を図るため、県が所有する防災相互無線設備の管理運営に関する協定 (千葉県、木更津市)
	改正平成25年10月1日	無線装備の台数増加による改正
都市ガス災害対策に関する申し合わせ書	昭和56年7月21日	都市ガスに起因する火災・爆発及び漏洩等の事故を未然に防止するとともに、災害が発生した場合これを早期に鎮圧し、被害を最小限に防止するための申し合わせ (東京瓦斯株式会社千葉支社、木更津市)
館山自動車道消防相互応援協定	平成7年4月26日	協定区域において火災、救急事故及びその他の災害が発生した場合に消防隊、救急隊その他の人員資機材を出場させるための協定 (千葉市、市原市、袖ヶ浦市、君津市、木更津市)
	改正平成8年3月28日	木更津JCTから湾横連絡道までの区間供用開始に伴う改正
	改正平成15年4月29日	木更津JCTから君津ICまでの区間供用開始に伴う改正及び君津市が新規加入
	改正平成19年7月4日	君津JCTから富津中央ICまでの区間供用開始に伴う改正及び富津市が新規加入

協定名	締結年月日	協定内容
救急救命処置に関する協定	平成7年12月28日	君津市、富津市、袖ヶ浦市及び君津郡市中央病院組合と救急救命士法に規定する医師の具体的指示及び救急救命処置に必要な情報交換に関する協定 (君津市、富津市、袖ヶ浦市、君津郡市中央病院組合、木更津市)
	改正平成16年2月26日	救急救命士の処置拡大により包括的指示下での除細動が可能になったこと、国の中央省庁変革により字句の変更による改正
	改正平成16年9月16日	救急救命士の処置拡大により、医師の具体的な指示下での気管挿管が可能になり、これに伴い病院実習で気管挿管の実症例30症例以上の成功症例を終えた救急救命士を認定するために改正
	改正平成18年6月26日	救急救命士の処置拡大により、医師の具体的な指示下での薬剤投与が可能になり、これに伴い必要な講習・実習を終了した救急救命士を認定するために改正
東京湾アクアライン連絡道消防相互応援協定	平成9年10月30日	協定区域において火災、救急事故及びその他の災害が発生した場合に協定市及び日本道路公団の消防力を活用して災害による被害を軽減させるための協定 (袖ヶ浦市、木更津市)
	改正平成18年7月11日	消防組織法が改正され、条の移動による改正
	改正平成27年2月1日	浮島インターチェンジの木更津市消防本部受け持ち区域変更による改正
東京湾アクアラインの消防活動対策に関する協定書	平成9年11月28日	東京湾アクアラインのトンネル内での火災等の災害が発生した場合に、消火、救助及び救急活動を迅速に展開し、被害の軽減を図るために必要な消防活動資機材の整備、使用及び管理に関する事項についての協定 (川崎市、(財)川崎市消防防災指導公社、木更津市)
東京湾アクアライン消防相互応援協定	平成9年12月1日	東京湾アクアラインにおいて、火災、救急事故等の災害が発生した場合に双方の消防力を相互に活用して災害による被害を最小限度に防止するための協定 (川崎市、木更津市)
	改正平成18年6月23日	消防組織法が改正され、条の移動による改正
海上保安庁木更津海上保安署との輸送の支援に関する申し合わせ	平成28年8月10日	木更津市消防本部から海上保安庁木更津海上保安署へ傷病者、消防職員及び資器材等の輸送の支援に関する申し合わせ (木更津海上保安署、木更津市)
首都圏中央連絡自動車道消防相互応援協定書	平成19年3月20日	協定区域において、火災、救急事故等の災害が発生した場合に双方の消防力を相互に活用して災害による被害を軽減するための協定 (袖ヶ浦市、東日本高速道路株式会社、木更津市)
	廃止令和2年2月14日	出場区域の見直しを実施し、木更津IC～松尾横芝IC 首都圏中央連絡自動車道消防相互応援協定書に盛り込んだため廃止
木更津IC～松尾横芝IC 首都圏中央連絡自動車道消防相互応援協定書	平成25年4月27日	協定区域において、火災、救急事故等の災害が発生した場合に双方の消防力を相互に活用して災害による被害を軽減するための協定 (千葉市、木更津市、市原市、長生郡市広域市町村組合、山武郡市広域行政組合、佐倉市八街市酒々井町消防組合)
	改正平成31年3月8日	大網白里スマートICの開通による長生郡市広域市町村組合及び山武郡市広域行政組合の出場区域の変更による改正
	改正令和2年2月14日	出場区域の変更により、木更津東～IC松尾横芝ICを木更津IC～松尾横芝IC区間に変更をしたため改正(千葉市、木更津市、市原市、袖ヶ浦市、長生郡市広域市町村組合、山武郡市広域行政組合、佐倉市八街市酒々井町消防組合)

協定名	締結年月日	協定内容
鉄道災害時における鉄道軌道事業者と消防機関との連携に関する協定書	平成21年3月31日	鉄道災害が発生し、又は発生するおそれのある場合、千葉県内の消防本部(局)と鉄道軌道事業者との相互連携により、安全かつ迅速な消防活動と公共交通機関としての列車運行の早期復旧を図るための協定 (千葉県下全市町村事務組合、全鉄道軌道事業所)
	改正平成23年4月1日	千葉県の組織改変
災害時における消防用水等の確保に関する協定書	平成30年11月20日	協定区域において、火災、風水害等の災害が発生し、又は発生するおそれがある場合において、消防用水等の供給の協力要請について、適切かつ円滑な運営を期するための協定 (千葉アクア生コンクリート協同組合、木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市)
船舶火災における消火等の協力に関する協定書	令和元年7月22日	木更津市のふ頭又は岸壁に係留された船舶の火災及び木更津港湾区域に隣接した建物火災等における消火協力業務に関し、適切かつ円滑な運営を期するための協定 (株式会社新日本海洋社君津支店、木更津市)

## 28. 消防水利施設

令和2年4月1日現在  
(基準適合水利数 計1,740箇所)



	消火栓		防火水槽										壕・池	その他 (プール)	合計
			20m <sup>3</sup> 未満		20~40m <sup>3</sup> 未満		40~60m <sup>3</sup> 未満		60~100m <sup>3</sup> 未満		100m <sup>3</sup> 以上				
	管理	管理外	管理	管理外	管理	管理外	管理	管理外	管理	管理外	管理	管理外	管理外	管理外	
基準適合水利	1,360	6	3	—	67	0	173	83	2	5	2	2	3	34	1,740
基準適合水利以外	210	16	64	2	100	5	—	—	—	—	—	—	—	—	397
合計	1,570	22	67	2	167	5	173	83	2	5	2	2	3	34	2,137

※ 管理とは、消防本部で管理している消防水利をいう。

※ 管理外とは、私設及び消防管理外の消防水利をいう。

※ 基準適合水利とは、消防水利の基準(昭和39年12月10日、消防庁告示第7号)第3条の規定に適合したものをいう。

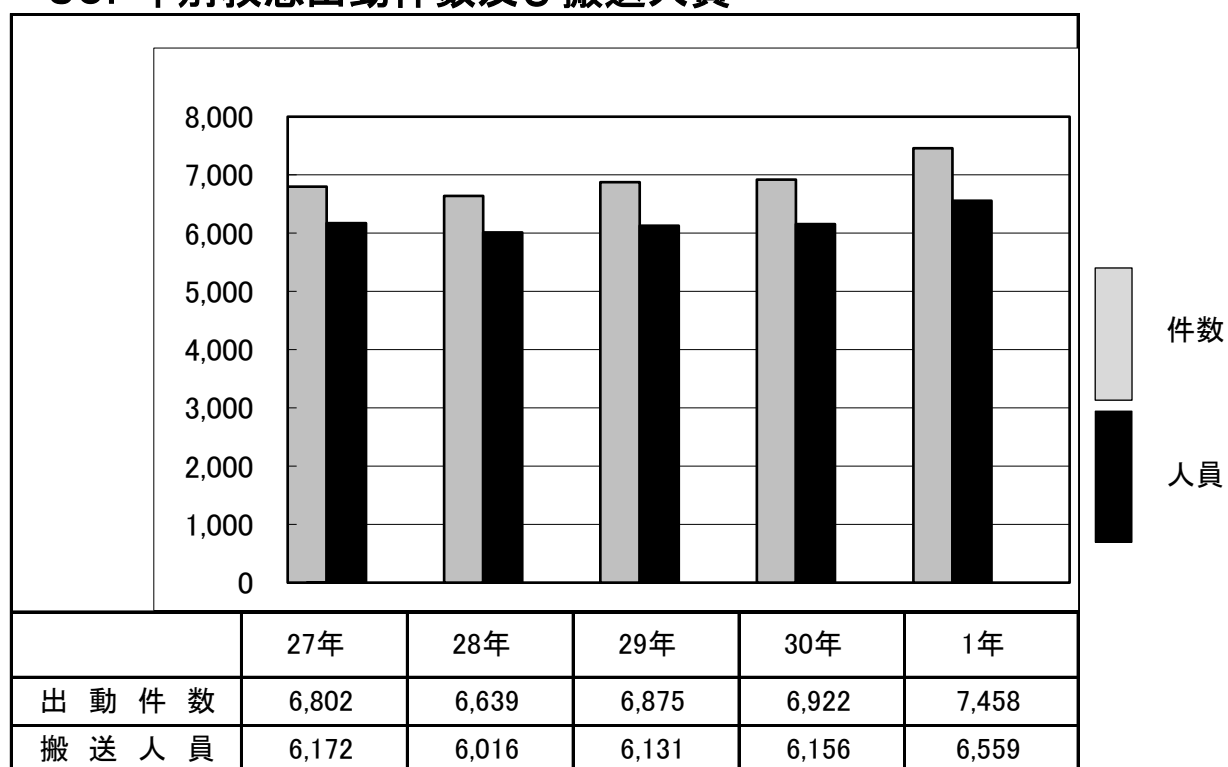
充足率 **83.9%**(平成31年消防施設整備計画実態調査メッシュ法により算出)

# 救急・救助関係

## 29. 年別事故種別出動件数及び搬送人員

年	事故種別 出動件数	火	自然	水	交	労	運	一	加	自	急	そ	合
		災	災	難	通	働	動	般	害	損	病	の	計
27年	出動件数	33	1	8	780	33	21	848	64	76	3,997	941	6,802
	搬送人員	7		4	840	34	23	792	46	52	3,650	724	6,172
28年	出動件数	21	3	6	773	36	28	897	58	80	3,848	889	6,639
	搬送人員	5	3	2	843	37	27	826	39	52	3,459	723	6,016
29年	出動件数	28	6	8	678	64	39	905	43	73	4,033	998	6,875
	搬送人員	2	5	2	724	61	39	829	28	55	3,587	799	6,131
30年	出動件数	30	1	2	688	52	38	886	43	65	4,150	967	6,922
	搬送人員	4			724	51	38	803	35	43	3,651	807	6,156
1年	出動件数	24	6	6	637	46	35	1,033	52	95	4,456	1,068	7,458
	搬送人員	5	4	2	640	46	33	939	37	64	3,896	893	6,559

## 30. 年別救急出動件数及び搬送人員





### 31. 事故種別年齢区分別傷病程度別搬送人員

令和元年

年齢区分	事故種別 傷病程度	火	自然	水	交	労	運	一	加	自	急	そ	合
		災	災害	難	通	働	動	般	害	損	病	他	計
新生児	死亡												
	重症											1	1
	中等症											4	4
	軽症								1				1
	その他計								1			5	6
乳幼児	死亡							1					1
	重症							1			3	1	5
	中等症							6			22	17	45
	軽症				23			98			195		316
	その他計				23			106			220	18	367
少年	死亡				1								1
	重症				4			1			2		7
	中等症				9		3	4			7	13	36
	軽症	2			70		20	28	1	2	99		222
	その他計	2			84		23	33	1	2	108	13	266
成人	死亡			1	1					7	15	1	25
	重症				4	4		4		6	24	7	49
	中等症	2		1	22	12	2	51	2	18	311	257	678
	軽症	1	3		354	23	8	155	28	23	954	4	1,553
	その他計	3	3	2	381	39	10	210	30	54	1,304	272	2,308
老人	死亡				1	1		9	1	3	88		103
	重症				10	1		8		1	57	20	97
	中等症		1		19	1		175		2	956	563	1,717
	軽症				122	4		398	4	2	1,163	2	1,695
	その他計		1		152	7		590	5	8	2,264	585	3,612
合計	死亡			1	3	1		10	1	10	103	1	130
	重症				18	5		14		7	86	29	159
	中等症	2	1	1	50	13	5	236	2	20	1,296	854	2,480
	軽症	3	3		569	27	28	679	34	27	2,411	6	3,787
	その他計	5	4	2	640	46	33	939	37	64	3,896	893	6,559

注1 傷病程度は初診時における医師の診断により分類

死亡 初診時において死亡が確認されたもの  
 重症 傷病の程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの  
 中等症 傷病の程度が入院を必要とするもので、重症でないもの  
 軽症 傷病の程度が入院加療を必要としないもの

注2 年齢区分は次により分類

新生児 生後28日以内の者                      乳幼児 生後29日以上満7才未満の者  
 少年 満7才以上満18歳未満の者                      成人 満18才以上満65才未満の者  
 老人 満65才以上の者

## 32. 時間別出動件数

令和元年

事故種別 時間別	火	自	水	交	労	運	一	加	自	急	そ	合
	災	然	難	通	働	動	般	害	損	病	の	計
	害	災			害	競	負		行		他	
0 ~ 2	1			17	2		32	11	9	254	28	354
2 ~ 4	1	3		9			22	10	7	187	24	263
4 ~ 6		1	1	15			29	8	4	215	15	288
6 ~ 8	3	1	1	64	2		77	1	8	320	26	503
8 ~ 10	3		1	70	10	3	110	3	5	482	105	792
10 ~ 12	3	1		76	12	8	126	2	5	455	212	900
12 ~ 14	1			61	7	10	115	5	5	456	179	839
14 ~ 16	1		3	75	6	6	134	1	7	452	147	832
16 ~ 18	4			107	2	3	108	1	13	395	130	763
18 ~ 20	2			88	2	2	112	1	16	475	86	784
20 ~ 22	3			35	3	2	109	4	8	413	74	651
22 ~ 24	2			20		1	59	5	8	352	42	489
合計	24	6	6	637	46	35	1,033	52	95	4,456	1,068	7,458

### 33. 救急隊員の行った応急処置件数

事故種別	応急処置 傷病程度	対象人員	止血	固定	人工呼吸	心マッサージ		心肺蘇生		酸素吸入	気道確保				保温
						うち自動	うち自動	うち自動	うち自動		※1	※2	※3	※4	
急病	死亡	103		2		1		92	3	96	97	1	9	31	
	重症	86		2	7			13	1	61	38	2		1	6
	中等症	1,296	2	8						470	24				7
	軽症	2,410	15	10						158	5		1		3
	その他														
	計	3,895	17	22	7	1		105	4	785	164	3	10	32	16
交通事故	死亡	3		1				3		3	3				
	重症	18	2	16	1			1		16	4				2
	中等症	50	5	35						26					
	軽症	568	21	179						17					
	その他														
	計	639	28	231	1			4		62	7				2
一般負傷	死亡	10		1				10		10	10		2	2	
	重症	14	1	5	1			4		13	6		2	2	
	中等症	236	18	72						28	4				2
	軽症	676	87	67						16	2				
	その他														
	計	936	106	145	1			14		67	22		4	4	2
その他	死亡	14			1			13		13	12	2		1	
	重症	41		6	2	1		3		32	8			1	
	中等症	898	4	25						212	5				1
	軽症	128	12	13						4					
	その他	3													
	計	1,084	16	44	3	1		16		261	25	2		2	
合計	死亡	130		4	1	1		118	3	122	122	3	11	34	
	重症	159	3	29	11	1		21	1	122	56	2	2	4	8
	中等症	2,480	29	140						736	33				10
	軽症	3,782	135	269						195	7		1		3
	その他	3													
	計	6,554	167	442	12	2		139	4	1,175	218	5	14	38	21

- ※1 経鼻エア－ウェイ
- ※2 喉頭鏡・鉗子等による異物除去
- ※3 ラリングアルマスク等
- ※4 気管挿管

不処置人員 4人

被 覆	在法			シ ョ ッ ク パ ン ツ	に よ る 血 圧 保 持	除 細 動	静 脈 路 保	確 保	薬 剤 投 与	そ の 急 他 処 置	血 圧 測 定	聴 診 器 で の 心 音	呼 吸 音 等 の 聴 取	血 中 酸 素 飽 和 度	の 測 定	心 電 図	う ち 伝 送	合 計
	宅 医 療 続	※ A	※ B															
						2	3	3	63	4	50	5	100					518
1						4	1	1	80	77	52	81	82					506
5	11	1		10				1	1,291	1,274	714	1,295	1,098					6,200
5	3			3				1	2,403	2,248	807	2,400	1,292					9,350
11	14	1		13		6	6	4	3,837	3,603	1,623	3,781	2,572					16,574
1											3	1	3					18
5									14	18	18	18	18					133
13									47	50	38	50	34					298
58									555	554	283	567	90					2,324
77									616	622	342	636	145					2,773
							1	1	5		8	1	10					57
						1	1	1	11	9	11	11	12					87
21									233	231	86	236	96					1,027
176									665	591	159	669	169					2,601
197						1	2	2	914	831	264	917	287					3,772
									11		7		13					70
3							1	1	35	39	19	40	34					224
12									893	876	200	895	526					3,649
19									125	124	26	128	28					479
									3	3	1	3	1					11
34							1	1	1,067	1,042	253	1,066	602					4,432
1						2	4	4	79	4	68	7	126					663
9						5	3	3	140	143	100	150	146					950
51	11	1		10				1	2,464	2,431	1,038	2,476	1,754					11,174
258	3			3				1	3,748	3,517	1,275	3,764	1,579					14,754
									3	3	1	3	1					11
319	14	1		13		7	9	7	6,434	6,098	2,482	6,400	3,606					27,552

※A 在宅中心静脈栄養管理・在宅化学療法等により点滴処置が施されているもの

※B 気管切開孔または気管瘻、人工肛門等の外瘻処置が施されているもの

※C A、B以外の処置が施されているもの

### 34. 月別出動件数及び搬送人員

令和元年

月	事故種別 出動 件数	火	自	水	交	労	運	一	加	自	急	そ	合
		災	然	難	通	働	動	般	害	損	病	の	計
		害	災	難	通	災	競	負		行		他	
1	出動件数	6			51	5		91	3	9	475	103	743
	搬送人員				51	5		85	3	7	414	92	657
2	出動件数	2			36	3	2	61	2	11	336	84	537
	搬送人員	2			36	3	2	59	2	7	297	70	478
3	出動件数	1			62	1	2	80	10	9	313	92	570
	搬送人員				68	1	2	75	5	6	266	79	502
4	出動件数				66	2	4	78	6	16	301	80	553
	搬送人員				64	2	4	70	7	8	261	70	486
5	出動件数	2		1	56	4	5	74	4	5	326	75	552
	搬送人員				53	4	4	59	2	5	294	63	484
6	出動件数				44	5	4	76	6	5	315	81	536
	搬送人員				44	5	4	70	4	2	287	68	484
7	出動件数	1			48	3	3	79	6	8	366	92	606
	搬送人員				53	3	3	72	4	6	325	81	547
8	出動件数	1			65	1	8	110	4	2	455	95	741
	搬送人員				58	1	7	102	3	1	406	77	655
9	出動件数	5	6	2	53	6	2	106	1	9	440	95	725
	搬送人員	2	4		55	6	2	99		7	373	77	625
10	出動件数	1		1	53	3	1	86	3	5	362	96	611
	搬送人員				53	3	1	79	1	4	322	75	538
11	出動件数			1	49	6	3	98	2	6	344	87	596
	搬送人員			1	46	6	3	87	2	5	282	77	509
12	出動件数	5		1	54	7	1	94	5	10	423	88	688
	搬送人員	1		1	59	7	1	82	4	6	369	64	594
計	出動件数	24	6	6	637	46	35	1,033	52	95	4,456	1,068	7,458
	搬送人員	5	4	2	640	46	33	939	37	64	3,896	893	6,559

### 35. 月別各署出動件数

令和元年

月	救急隊	事故種別											合計
		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	
1	本署	3			17	1		17	1	1	109	34	183
	長須賀分署	1			12			26		4	127	28	198
	富来田分署				3			10			45	4	62
	金田分署	2			10	1		13	2		80	9	117
波岡分署				9	3		25		4	114	28	183	
2	本署				10	1	1	19	1	3	85	24	144
	長須賀分署	2			15	1		17	1	5	123	22	186
	富来田分署				1			6			20	5	32
	金田分署				6			5		1	54	13	79
波岡分署				4	1	1	14		2	54	20	96	
3	本署	1			17			23	5		77	29	153
	長須賀分署				24	1	1	20	2	6	112	24	190
	富来田分署				5			8			23	2	38
	金田分署				8			13	2	2	45	15	85
波岡分署				8			16	1	1	56	22	104	
4	本署				23	1	1	13	3	4	75	19	139
	長須賀分署				24	1	1	34	2	6	109	24	201
	富来田分署				1			4		1	14	2	22
	金田分署				10			8	1	1	41	5	66
波岡分署				8			19		4	62	30	125	
5	本署			1	13	1	2	17	3	1	83	13	134
	長須賀分署	1			16		2	21	1	2	98	29	170
	富来田分署				6	1	1	8			20	7	43
	金田分署				11	1		15			51	8	86
波岡分署	1			10	1		13		2	74	18	119	
6	本署				14	3	1	26	2	1	73	20	140
	長須賀分署				13	1	2	20	3	4	112	34	189
	富来田分署				2			3			18		24
	金田分署				6	1		7			41	11	66
波岡分署				9			20	1		71	16	117	
7	本署				10			22	1	4	107	30	174
	長須賀分署	1			18	1	2	21	2	2	108	28	183
	富来田分署				3			6			29		38
	金田分署				5	1		12	2		55	19	94
波岡分署				12	1	1	18	1	2	67	15	117	
8	本署	1			10			28	2	1	111	31	189
	長須賀分署				22		2	28	1	1	154	28	236
	富来田分署				5			13			36		54
	金田分署				11	1		19			78	8	117
波岡分署				17			22	1		76	28	145	
9	本署	1	2	1	18	2	1	26	1	4	102	22	180
	長須賀分署	1	2	1	9	1		32		4	131	27	208
	富来田分署				6			16			44	5	71
	金田分署	2	1		6	1	1	14			68	16	109
波岡分署	1	1		14	2		18		1	95	25	157	
10	本署				12			33	2	1	124	34	206
	清川分署				10	1		24			79	25	139
	富来田分署			1	7			7		1	19	7	42
	金田分署	1			10			8		1	67	14	101
波岡分署				14	2	1	14	1	2	73	16	123	
11	本署				12	3	1	35	1	2	111	32	197
	清川分署				12			23	1		92	18	147
	富来田分署				2	1		12			15	5	35
	金田分署				7	1	1	15		2	58	14	98
波岡分署			1	16	1		13		2	68	18	119	
12	本署	1			18			29		1	123	33	205
	清川分署	1			14		1	23	3	7	116	15	180
	富来田分署	1			4	2		4		1	29	1	42
	金田分署	1		1	5	3		14	1	1	67	12	105
波岡分署	1			13	2		24	1		88	27	156	
計	本署	7	2	2	174	12	13	288	22	23	1,180	321	2,044
	清川分署	7	2	1	189	7	12	289	16	41	1,361	302	2,227
	富来田分署	1		1	45	4	2	97		3	312	38	503
	金田分署	6	1	1	95	10	2	143	8	8	705	144	1,123
波岡分署	3	1	1	134	13	6	216	6	20	898	263	1,561	

### 36. 月別各署搬送人員

令和元年

月	事故種別 救急隊	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
1	本署				17	1		17	1	1	93	30	160
	長須賀分署				12			25		3	112	24	176
	富来田分署				2			9			34	3	48
	金田分署				11	1		12	2		75	9	110
	波岡分署				9	3		22		3	100	26	163
2	本署				11	1	1	18	1	2	76	19	129
	長須賀分署	2			14	1		17	1	3	106	20	164
	富来田分署							6			17	2	25
	金田分署				8			5			50	11	74
	波岡分署				3	1	1	13		2	48	18	86
3	本署				18		1	22	3		68	22	134
	長須賀分署				25	1	1	17	1	4	92	23	164
	富来田分署				7			8			21	2	38
	金田分署				7			13	1	2	38	11	72
	波岡分署				11			15			47	21	94
4	本署				20	1	1	12	3	3	64	18	122
	長須賀分署				23	1	1	29	3	3	87	21	168
	富来田分署				1			3			14	1	19
	金田分署				12			7	1		38	4	62
	波岡分署				8		2	19		2	58	26	115
5	本署				13	1	2	14	2	1	78	11	122
	長須賀分署				13		1	15		2	83	25	139
	富来田分署				5	1	1	7			19	6	39
	金田分署				12	1		14			46	6	79
	波岡分署				10	1		9		2	68	15	105
6	本署				13	3	1	24	2		65	14	122
	長須賀分署				14	1	2	20	1	2	99	28	167
	富来田分署				2		1	3			15		21
	金田分署				7	1		6			39	10	63
	波岡分署				8			17	1		69	16	111
7	本署				10			19		4	96	25	154
	長須賀分署				17	1	2	18	2	1	98	26	165
	富来田分署				5			6			26		37
	金田分署				8	1		11	1		48	17	86
	波岡分署				13	1	1	18	1	1	57	13	105
8	本署				9		4	24	2	1	97	23	160
	長須賀分署				21		2	24	1		139	24	211
	富来田分署				4			13			29		46
	金田分署				10	1		19			68	6	104
	波岡分署				14		1	22			73	24	134
9	本署		1		19	2	1	26		3	89	18	159
	長須賀分署	1	1		11	1		27		3	105	22	171
	富来田分署				5			16			37	2	60
	金田分署	1	1		6	1	1	13			56	13	92
	波岡分署		1		14	2		17		1	86	22	143
10	本署				11			31	1	1	110	29	183
	清川分署				5	1		23			69	20	118
	富来田分署				9			5		1	16	1	32
	金田分署				13			6		1	56	13	89
	波岡分署				15	2	1	14		1	71	12	116
11	本署				14	3	1	29	1	2	100	26	176
	清川分署				10		1	22	1		74	15	123
	富来田分署				2	1		11			9	5	28
	金田分署				6	1	1	12		1	48	14	83
	波岡分署			1	14	1		13		2	51	17	99
12	本署				18			25		1	107	19	170
	清川分署				16		1	20	3	4	101	10	155
	富来田分署				5	2		4			25		36
	金田分署			1	6	3		12	1	1	60	10	94
	波岡分署	1			14	2		21			76	25	139
計	本署		1		173	12	12	261	16	19	1,043	254	1,791
	清川分署	3	1		181	7	11	257	13	25	1,165	258	1,921
	富来田分署				47	4	2	91		1	262	22	429
	金田分署	1	1	1	106	10	2	130	6	5	622	124	1,008
	波岡分署	1	1	1	133	13	6	200	2	14	804	235	1,410

### 37. 救助活動概況

救助活動は、火災、交通事故、自然災害等の救助事故にあたり、消防機関が要救助者を人力、機械器具等を用いて安全な場所に救出するための活動で、消防業務の中でも非常に重要な任務であります。本市では、平成元年4月1日に専任救助隊を発足、平成4年12月にクレーン付災害資器材搬送車を配備、救助工作車Ⅱ型については平成11年3月に更新整備し、救助資機材の整備充実を図ってまいりました。平成25年2月には15m級はしご付消防ポンプ自動車を配備、平成31年3月に40m級はしご付消防自動車を更新整備しました。

また、東京湾アクアラインの橋梁部及びトンネル上り車線を消防活動分担区域とし、複雑多様化する社会現況の変化の中で、より高度な技術がもとめられ、現在15名の救助隊員で救助活動をおこなっており、市民生活の安全を確保するため日夜努力を重ねております。

### 38. 救助隊員の構成

令和2年4月1日

年齢 階級	20才 以上	25才 以上	30才 以上	35才 以上	40才 以上	45才 以上	50才 以上
司令長							1
司令						2	
司令補				1	3		
士長			1	1			
副士長			1				
消防士	5						

### 39. 救助隊員の訓練実施状況

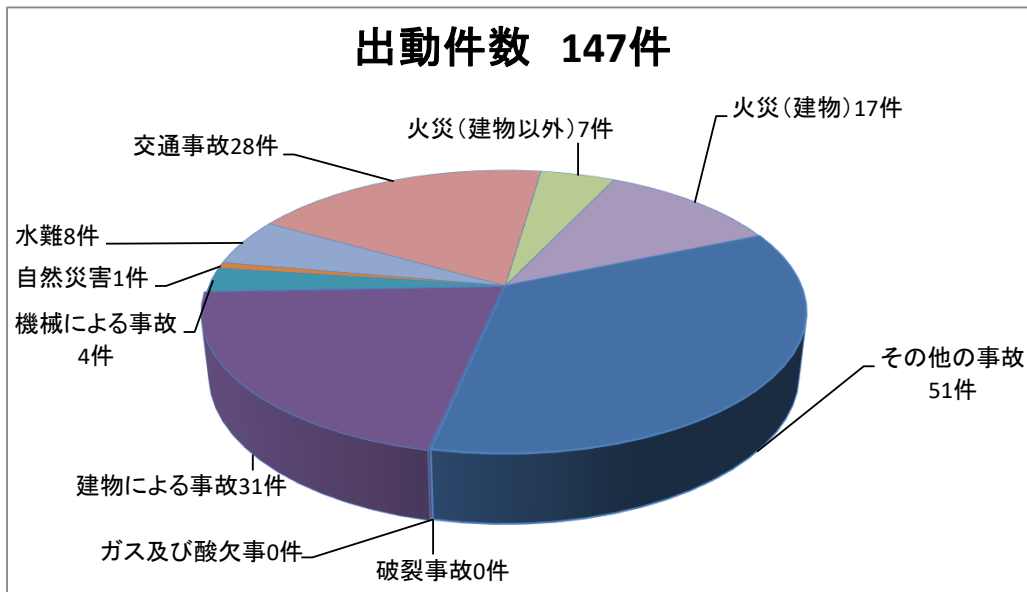
令和元年

訓練種別	実施延回数	実施延人員	実施延時間	備考
体力練成	89	399	125.0	柔軟・ウエイト・サーキットトレーニング
救助操法 器具取扱い訓練	192	1,192	542.0	基本及び応用操法・器具取扱い訓練
想定訓練	46	217	106.0	各種救助事象想定・検索・救助訓練
潜水訓練	43	266	107.0	スキン・スキューバ潜水検索訓練

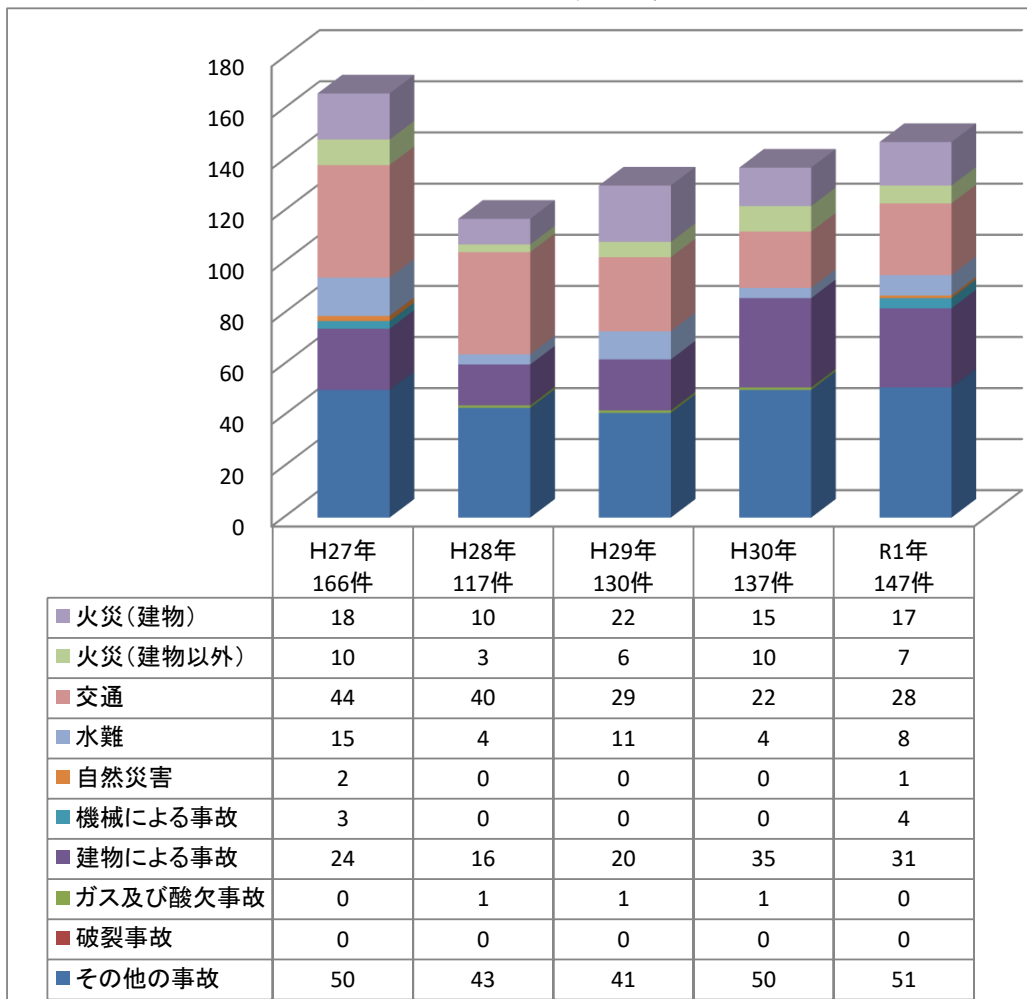


## 40. 救助出動件数

令和元年

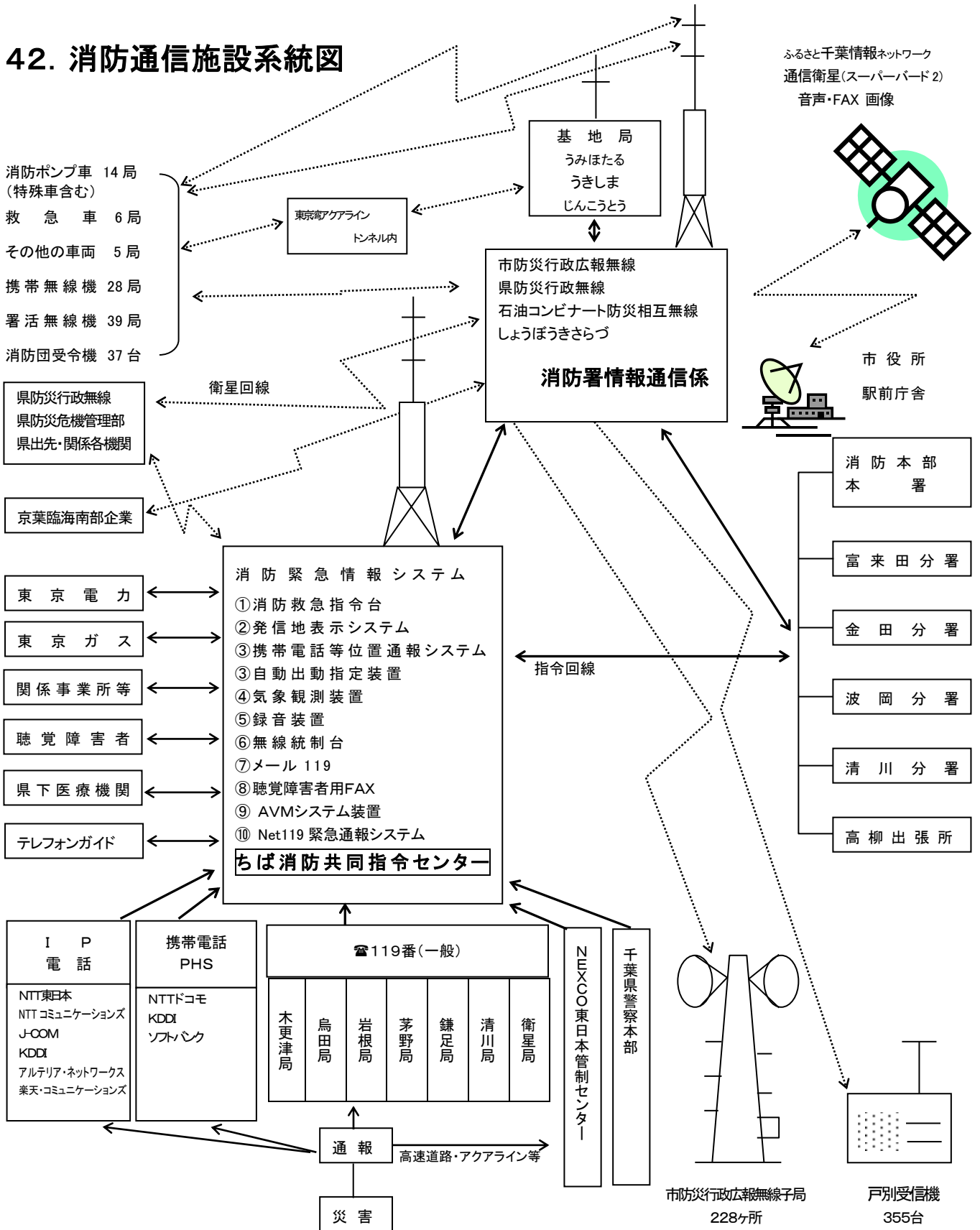


## 41. 過去5年間の事故別救助隊出動件数



# 通信指令関係

# 42. 消防通信施設系統図



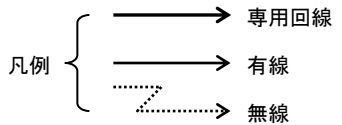
**ちば消防共同指令センター共同運用20消防本部**

木更津市・君津市・富津市・袖ヶ浦市・千葉市・銚子市・成田市・旭市・市原市

四街道市・富里市・栄町・安房郡市広域市町村圏事務組合・長生郡市広域市町村圏組合

匝瑳市横芝町光町消防組合・山武郡市広域行政組合・香取広域市町村圏事務組合

佐倉市八街市酒々井町消防組合・印西地区消防組合・夷隅郡市広域市町村圏事務組合



### 43. 119番受付統計(覚知種別統計)

令和元年

回線区分等		月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
119	固定		155	125	114	112	133	152	139	160	173	136	108	118	1,625
	携帯		506	336	375	340	372	344	397	573	685	398	396	497	5,219
	IP		334	229	244	216	243	203	248	294	297	262	250	262	3,082
加入	固定/IP		12	9	7	15	12	11	11	13	29	15	10	19	163
	携帯		4	2	4	1	4	6	5	6	23	7	7	2	71
警察電話			27	20	21	27	11	15	14	20	23	23	13	22	236
駆けつけ通報			1	3	2	1		3	27	13	16	8	2	6	82
事後聞知					1						1				2
自己覚知			1	1	1	2			3		2			1	11
その他			3	2	4	3	2	3	1	3	4	4	5	5	39
隣接消防への119転送					1	1	1		1		2	1	1	4	12
合計			1,043	727	774	718	778	737	846	1,082	1,255	854	792	936	10,542

※1 1回の通報に対し複数回の指令を出す場合があるので、44表との合計には差異が生じます。

※2 回線区分等のその他は、ドクターヘリを無線要請する場合などの件数です。

※3 IP(Internet Protocol)電話は、電話通信ネットワークと電話端末との接続点において、IP技術を利用して提供する音声電話サービスです。

### 44. 119番受付統計(指令・切断統計)

令和元年

災害等		月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災指令			14	5	7	3	6	1	3	11	16	4	2	6	78
救急指令			619	448	484	457	480	468	527	640	576	516	516	564	6,295
救助指令			4	8	6	5	7	4	4	5	8	9	9	4	73
その他災害指令			101	63	57	49	53	54	51	70	217	76	51	78	920
問合せ	火災		4	1		1		1			1		1		9
	救急		10	8	7	8	3	6	6	9	17	4	6	12	96
	病院		89	55	54	40	74	51	55	94	77	43	57	60	749
	その他		19	6	7	11	24	13	18	14	61	34	12	13	232
その他	いたづら		2	2	13	4	1	6	8	1	2	4			43
	無音		32	32	30	32	25	26	45	50	71	31	30	55	459
	間違い		34	28	37	33	42	37	36	50	57	46	31	30	461
	119試験		42	35	51	44	33	50	50	45	29	51	75	44	549
	FAX転送														
	転送		1		2	2	2	1	2	6	4	1	3	8	32
	その他		6	5	7	5	6	7	11	10	31	5	7	7	107
合計			977	696	762	694	756	725	816	1,005	1,167	824	800	881	10,103

# 氣 象 関 係

## 45. 年別氣象狀況

年 別 区 分		18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1
		風 速	最 大 (m/s)	14.0	13.9	10.9	12.2	9.7	15.1	14.5	12.8	14.2	11.7	12.7	13.0
最大瞬間(m/s)	26.1		27.3	20.9	24.7	22.5	28.6	28.3	23.2	47.0	27.9	27.6	29.3	34.3	49.0
平 均 (m/s)	2.5		1.8	1.6	1.7	1.9	1.9	1.7	2.3	2.1	2.7	2.6	2.7	2.9	2.7
氣 溫	最 高 ( °C )	37.4	37.7	36.1	34.5	36.8	36.5	35.7	36.7	35.6	37.6	36.9	35.6	36.3	35.4
	最 低 ( °C )	-5.2	-1.4	-4	-2.6	-2.2	-4.9	-4.1	-4.1	-2.4	-2.3	-2.4	-2.2	-3.8	-2.7
	平 均 ( °C )	15.8	16.6	16.1	16.3	16.5	16.8	15.7	16.0	16.2	15.9	16.1	15.6	16.5	16.1
濕 度	最 小 ( % )	17.0	16.9	7.6	15.9	13.4	13.4	20.5	19.1	17.4	54.0	11.0	11.0	21.0	14.0
	平 均 ( % )	73.1	69.7	69.2	69.3	70.6	70.8	74.5	70.2	71.2	75.4	65.0	73.0	66.0	73.0
降 水 量	日 最 大 (mm)	165.5	132.5	86.5	97.0	51.5	83.5	56.5	213.5	106.8	97.0	98.0	137.5	95.0	166.6
	月 最 大 (mm)	303.5 10月	275.5 7月	263.0 5月	220.0 5月	249.0 9月	187.5 5月	173.0 11月	509.0 10月	328.4 10月	163.5 11月	275.5 9月	533.5 10月	371.5 9月	472.0 10月
	年總雨量 (mm)	1,793	1,351	1,614	1,595	1,386	1,180	1,383	1,399	1,541	1,905	1,663	1,500	1,461	1,985

## 46. 月別気象状況

令和元年

月別 区分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
		風速	最大 (m/s)	9.7	11.5	10.8	11.5	8.6	12.1	9.3	9.9	23.2	16.5
最大瞬間(m/s)	19.5		21.7	19.5	21.9	17.4	20.7	19.1	18.1	49.0	35.9	19.9	20.7
平均 (m/s)	2.8		2.7	3.2	2.8	2.4	2.5	2.4	2.7	2.8	3.1	2.7	2.5
最多風向	西南西		南西	西南西	南西	南西	南西	南西	南西	南西	南東	南	南西
気温	最高 (°C)	14.9	19.4	21.9	24.1	32.7	31.7	33.2	35.4	34.5	30.4	21.9	20.1
	最低 (°C)	-1.5	-2.7	0.9	1.2	8.0	12.7	16.2	21.5	16.1	11.6	1.3	1.8
	平均 (°C)	5.7	7.0	10.3	13.1	19.1	21.2	23.7	27.6	24.2	19.2	13.0	8.9
湿度	最小 (%)	15.0	21.0	19.0	14.0	23.0	28.0	53.0	48.0	45.0	33.0	25.0	25.0
	平均 (%)	53.0	67.0	65.0	69.0	74.0	82.0	88.0	82.0	79.0	78.0	72.0	70.0
雨量	日最大 (mm)	17.0	28.0	31.0	33.5	61.0	121.0	47.0	29.5	126.0	166.5	77.0	27.5
	月間 (mm)	18.5	57.5	117.0	100.5	113.0	285.0	244.5	93.0	215.5	472.0	175.5	93.0

# 消 防 団 関 係

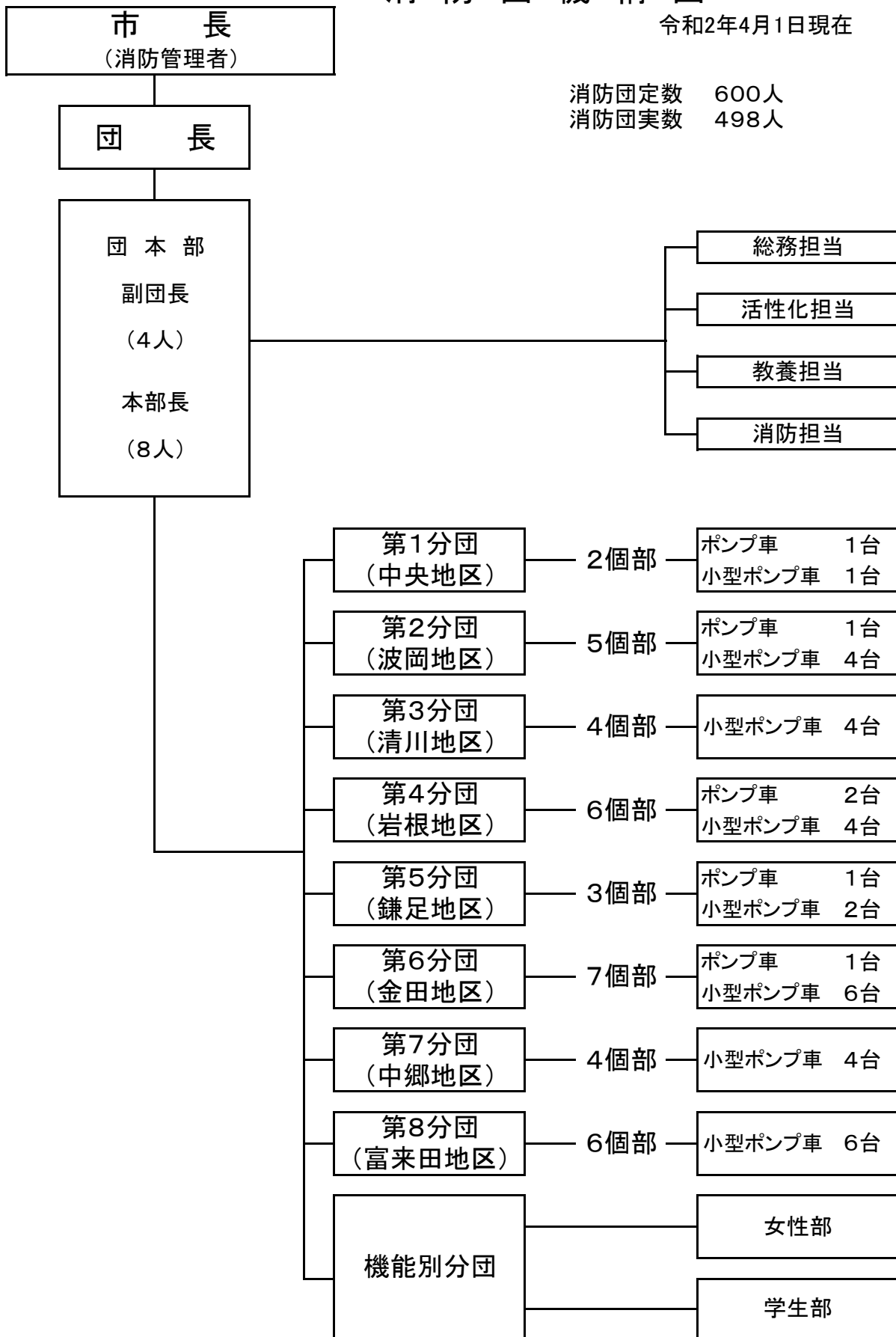


# 47. 消防団機構図

## 消防団機構図

令和2年4月1日現在

消防団定数 600人  
消防団実数 498人



## 48. 報酬及び費用弁償状況

(単位:円)

令和2年4月1日現在

階級	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
報酬 (年額)	260,000	166,000	119,000	54,000	35,000	28,000	27,000
費用弁償	火災、風水害は一人一回につき1,800円支給(平成29年4月から) 警戒、訓練、その他は一人一回1,400円支給						

## 49. 退職状況

令和元年度

年数別	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上
計	45人	19人	8人	13人	3人
					2人

## 50. 新任状況

令和2年4月1日入団

年齢別	21歳未満	21歳 ~25歳	26歳 ~30歳	31歳 ~40歳	41歳以上
計	33人	10人	7人	7人	2人

## 51. 就業形態別状況

令和2年4月1日現在

就業形態	被用者		自営業	家族従業者	その他
	会社員	公務員(準公務員含)			
計	498人	323人	63人	55人	22人
					35人

## 52. 団員の推移

基準日:4月1日

年度別	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度
団員数(人)	569人	550人	561人	559人	545人	504人	498人

## 53. 団員在職年数

令和2年4月1日現在

年数	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 30年未満	30年以上
計	498人	144人	147人	127人	41人	35人
						4人

参考 女性の団員19名 内訳(機能別分団女性部 12名 機能別分団学生部 6名 基本団員1名)  
学生の団員24名 内訳(機能別分団学生部 24名)

## 54. 年齢別及び階級別団員数

令和2年4月1日現在

階級 年齢	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
20歳未満						1	6	7
20～24歳					2	2	28	32
25～29歳					4	9	33	46
30～34歳				2	12	18	64	96
35～39歳			2	5	10	27	96	140
40～44歳			3	4	9	9	61	86
45～49歳			8	3	1	8	31	51
50～54歳		2	3	1		3	16	25
55～59歳	1			1			8	10
60歳以上		2			1	1	1	5
合計	1	4	16	16	39	78	344	498

消防団員平均年齢 37.1歳

